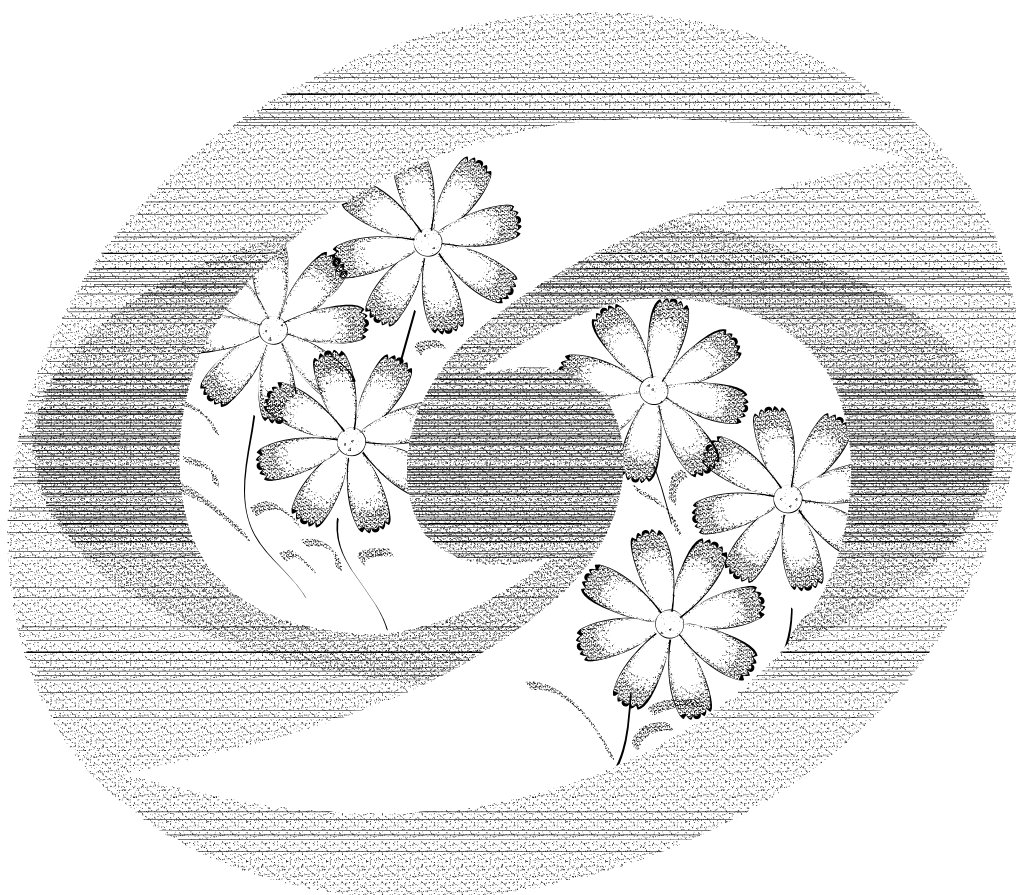


さぬき市環境基本計画

2016 ~ 2026

「守る つなぐ 進化する」
自然豊かで人いきいき 笑顔あふれて快適に
みんなで暮らす ふるさとさぬき



平成28年3月

さぬき市環境基本計画 目次

第1章 はじめに

1-1 目的	1
1-2 計画の位置づけ	2
1-3 期間	2
1-4 対象とする環境の範囲	2

第2章 さぬき市の概要

2-1 地勢	3
2-2 人口と世帯数	4
2-3 土地利用	5
2-4 産業	6
2-5 交通	7
2-6 上水道と下水道	9
(1) 上水道	9
(2) 下水道	10

第3章 さぬき市の環境

3-1 生活環境	11
(1) 大気	11
(2) 水	13
(3) 騒音・振動・土壌・悪臭	15
3-2 自然環境	17
(1) 自然	17
(2) 動物と植物	19
3-3 その他の環境	21
(1) 快適環境	21
(2) 資源・廃棄物	23
(3) 市民の取組	25
(4) 地域の取組	27
(5) 環境情報・環境教育など	29
(6) 地球環境	31
3-4 さぬき市の環境の問題と課題	33

第4章 さぬき市の目指す環境	35
第5章 目標の実現に向けて ～施策と配慮指針～	
5-1 市民・事業者の配慮指針と市の施策	37
5-2 地域の課題に向けて	43
第6章 効果的な計画の推進に向けて	
6-1 計画の推進体制	45
(1) 市民と事業者と市の基本的な役割	45
(2) 推進体制	45
6-2 計画の進行管理	46
(1) 進行管理の方法	46

第1章 はじめに

1-1 目的

さぬき市は、多島美を誇る瀬戸内海とそれを見下ろす讃岐山脈の裾野に広がる田園地帯など、四季折々の実りに恵まれた自然環境を有しています。さぬき市民は、豊かな自然、瀬戸内の穏やかな風土にはぐくまれ、それらによって培われた歴史的・文化的環境を祖先から受け継いできました。

このような環境を私たちの世代で終わらせることなく、次の世代に引き継いでいくためには、これまでの大量生産・大量消費の社会システムを見直し、自然をはぐくみ、環境保全型のまちを創り出すとともに、持続可能な社会への展望を見いだしていかななくてはなりません。

さぬき市環境基本計画は、良好で快適な環境を確保するとともに、環境にやさしいまちづくりをめざして、施策の総合的、計画的な推進に向けて環境の保全と創造に関する基本的な計画を定めることを目的としています。



1-2 計画の位置づけ

本計画は、さぬき市環境基本条例第8条に基づき策定するものです。
本計画を、さぬき市総合計画の環境分野における下位計画として位置づけます。

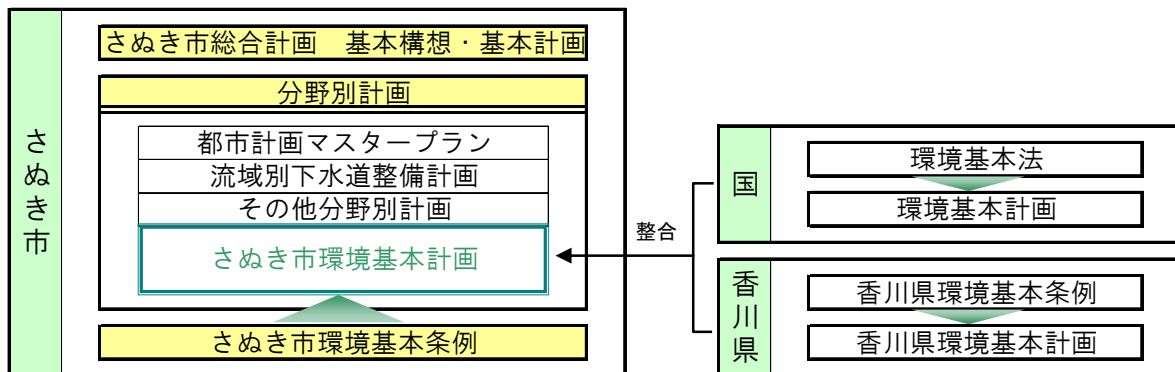


図1-1 さぬき市環境基本計画の位置づけ

1-3 期間

本計画の期間は、2016年度(平成28年度)から2026年度(平成38年度)までの11ヵ年とします。
ただし、総合計画の変更や見直しがある場合など、必要な場合は見直しを図るものとします。

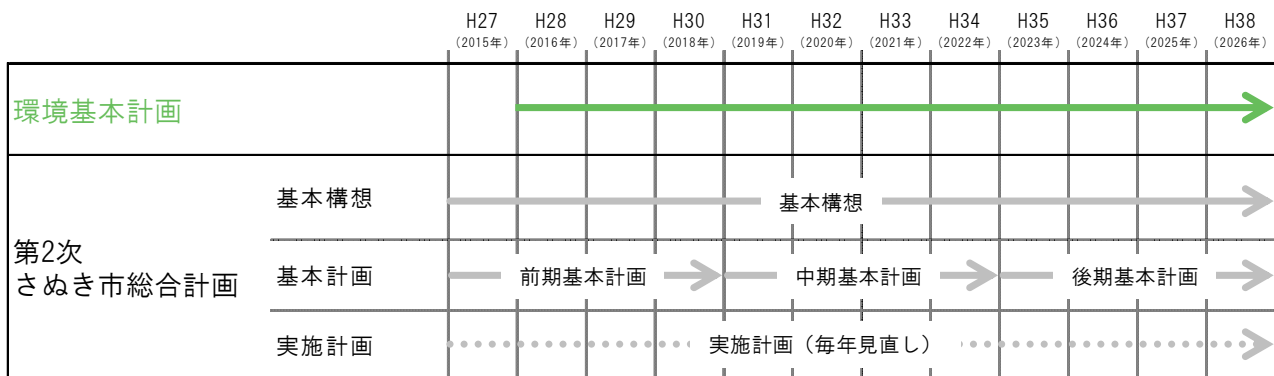


図1-2 さぬき市環境基本計画の期間

1-4 対象とする環境の範囲

本計画で対象とする環境の範囲は、以下の5区分とします。

表1-1 さぬき市環境基本計画で対象とする環境の範囲

項目	区分	
生活環境	1	大気環境(騒音・振動含む)・水環境・その他(土壌・悪臭など)
自然環境	2	動物・植物・里地里山・里海
その他	3	快適環境(公園・水辺など)
	4	資源・廃棄物(エネルギー・資源の循環的利用・廃棄物)
	5	その他(地域の取組・環境情報・環境教育・地球環境問題など)

第2章 さぬき市の概要

2-1 地勢

さぬき市の地勢は、北部の海岸部、中央部の平野部、南部の山間部に分けられます。

さぬき市の北部は、瀬戸内海に面し、小さな岬・半島の岩やれきの海岸と、砂浜が交互に織りなした海岸線です。浜堤の上には津田・志度の町並みが古くから形成され、港町として栄えてきました。白砂青松の津田海岸は瀬戸内海国立公園で、「日本の渚百選」の一つに選ばれています。また、志度湾の海岸は埋め立てられ、市街地や工業団地となっています。

中央部は、西方の高松平野と連なった平野が広がっており、大小のため池が美しい田園景観を形成しています。

南部は、自然豊かな讃岐山脈の山間部です。

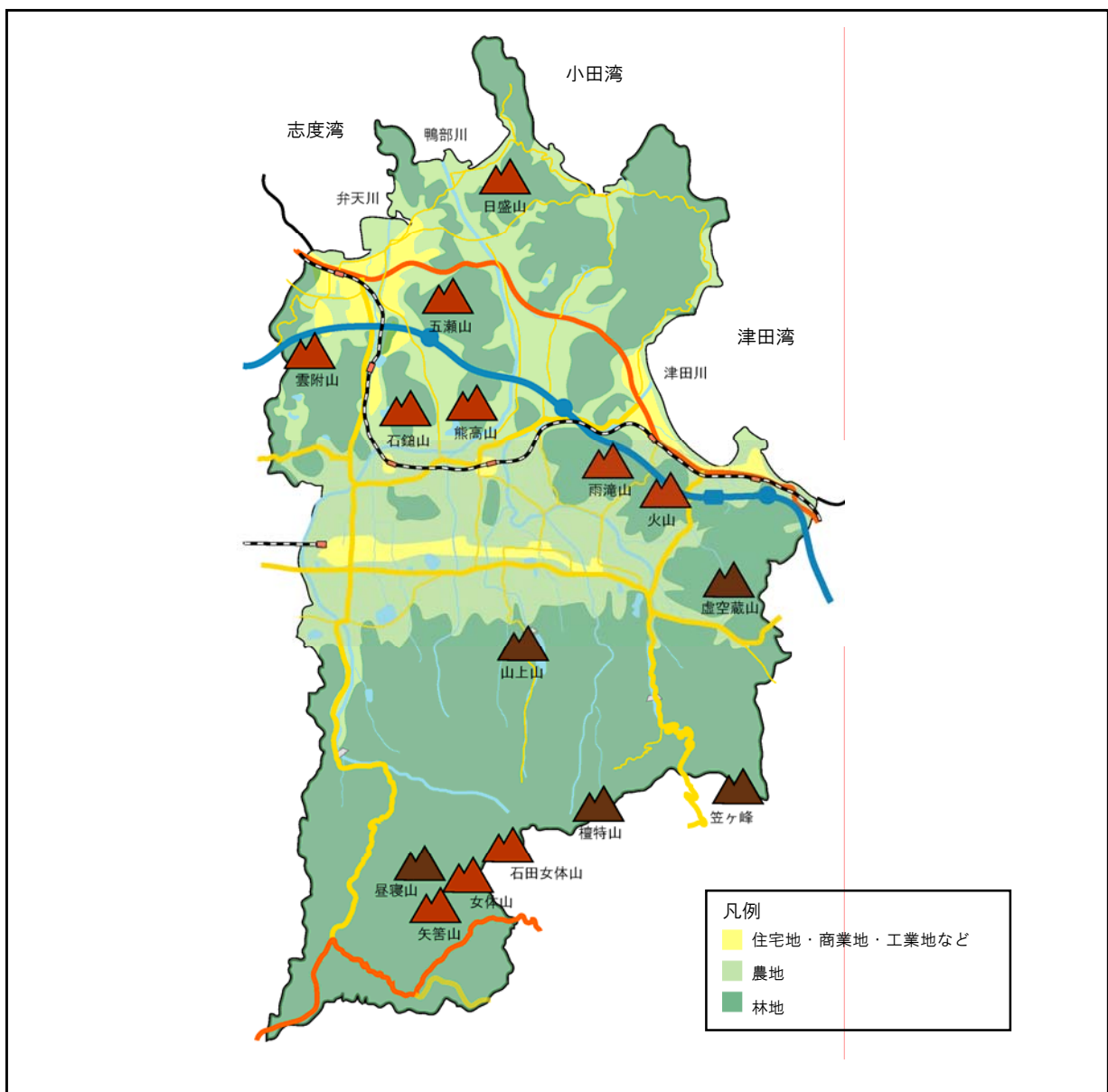


図 2-1 さぬき市の地勢

※ 出典：さぬき市都市計画マスタープラン・さぬき市観光協会HP

2-2 人口と世帯数

さぬき市の総人口は平成7年以降減少傾向にありますが、世帯数は増加しています。平成27年(2015年)国勢調査では、総人口が50,300人、世帯数が19,737世帯で、1世帯当たり人員は2.55人となり、年々核家族化が進んでいます。

年齢別割合では、香川県、全国と比較すると15歳未満の人口割合が小さく、65歳以上の割合が大きく、少子高齢化が進行しています。

また平成22年国勢調査では、志度駅から志度I.C.周辺の人口密度が高い地域が人口集中地区※に設定されています。

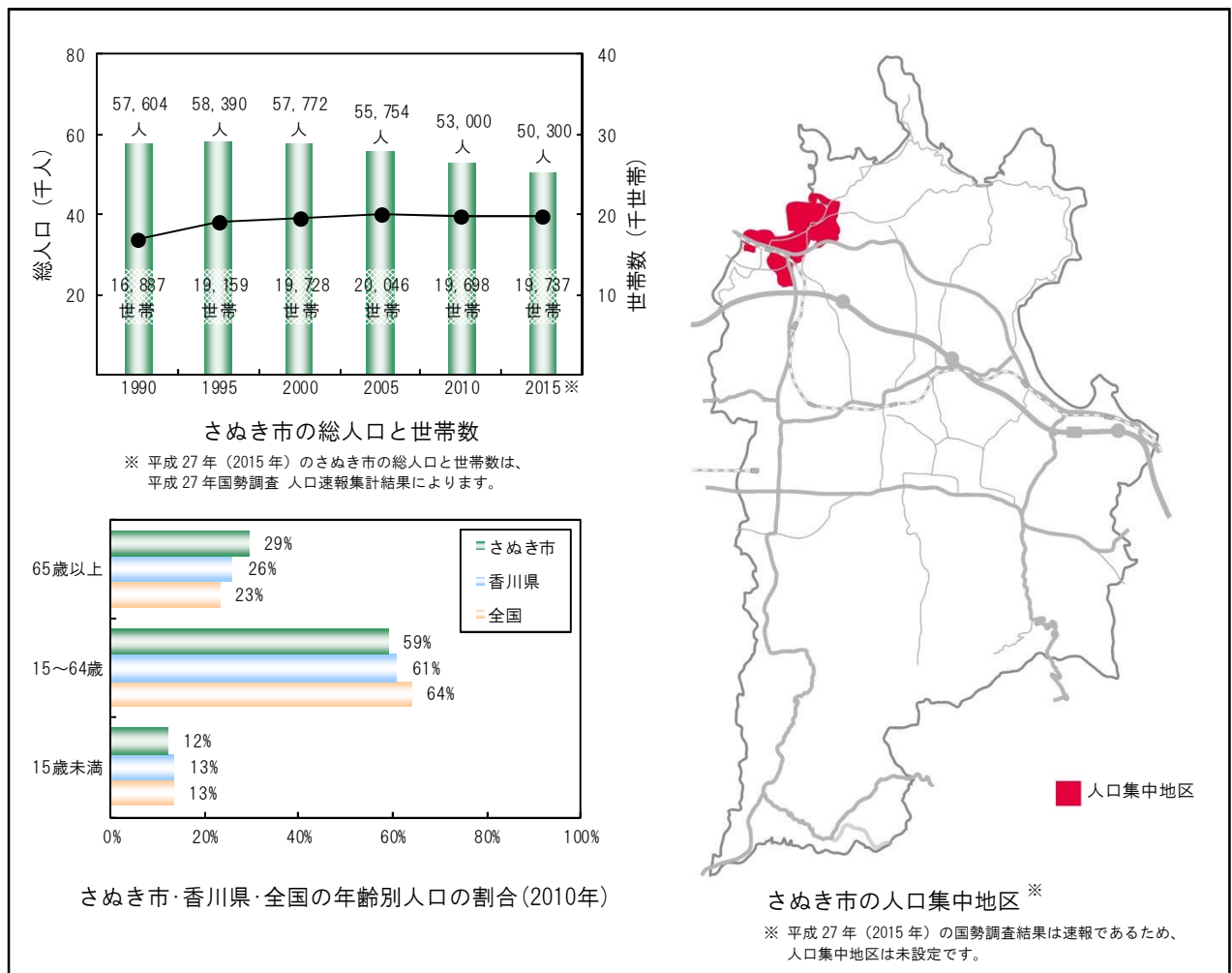


図 2-2 さぬき市の人口と世帯数の状況

※ 出典：平成2年、平成7年、平成12年、平成17年、平成22年、平成27年国勢調査

WORD

※ 人口集中地区：人口密度が4千人/km²以上の調査区(基本単位区など)が隣接し、合計人口が5千人以上の地域に設定される。

2-3 土地利用

さぬき市は、志度駅、讃岐津田駅、中央部を横断する(主)高松長尾大内線周辺の3地域に市街地が広がっています。また、各地域は河川沿いの田園地域、山林などで隔てられています。

さぬき市の土地利用の方針は、現状を踏まえて、志度駅と讃岐津田駅、主要地方道沿いに商業・流通・工業の拠点、その周辺に住宅地、平野部と鴨部川、津田川沿いに田園を整備することとしています(都市計画マスタープラン)。

(主)：主要地方道

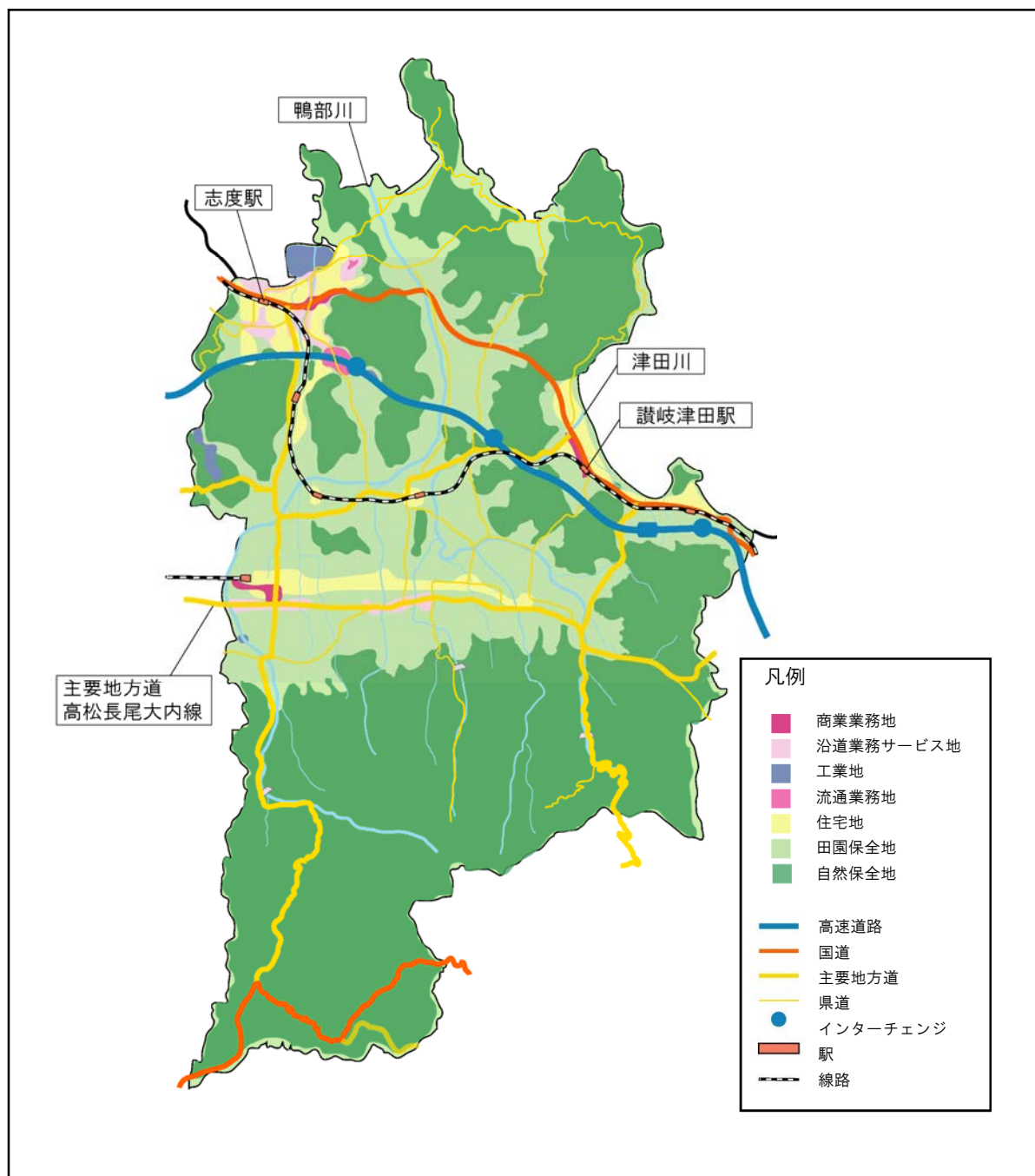


図2-3 さぬき市の土地利用の方針

※ 出典：第2次さぬき市総合計画・さぬき市都市計画マスタープラン(主要用途の配置方針図)

2-4 産業

さぬき市では第一次産業と第二次産業の就業者が年々減少し、第三次産業の就業者が増加していますが、香川県、全国と比較すると第一次産業と第二次産業の割合は多いです。

第一次産業の業種別に見ると、農業、漁業、林業の全ての就業者が近年減少してきています。

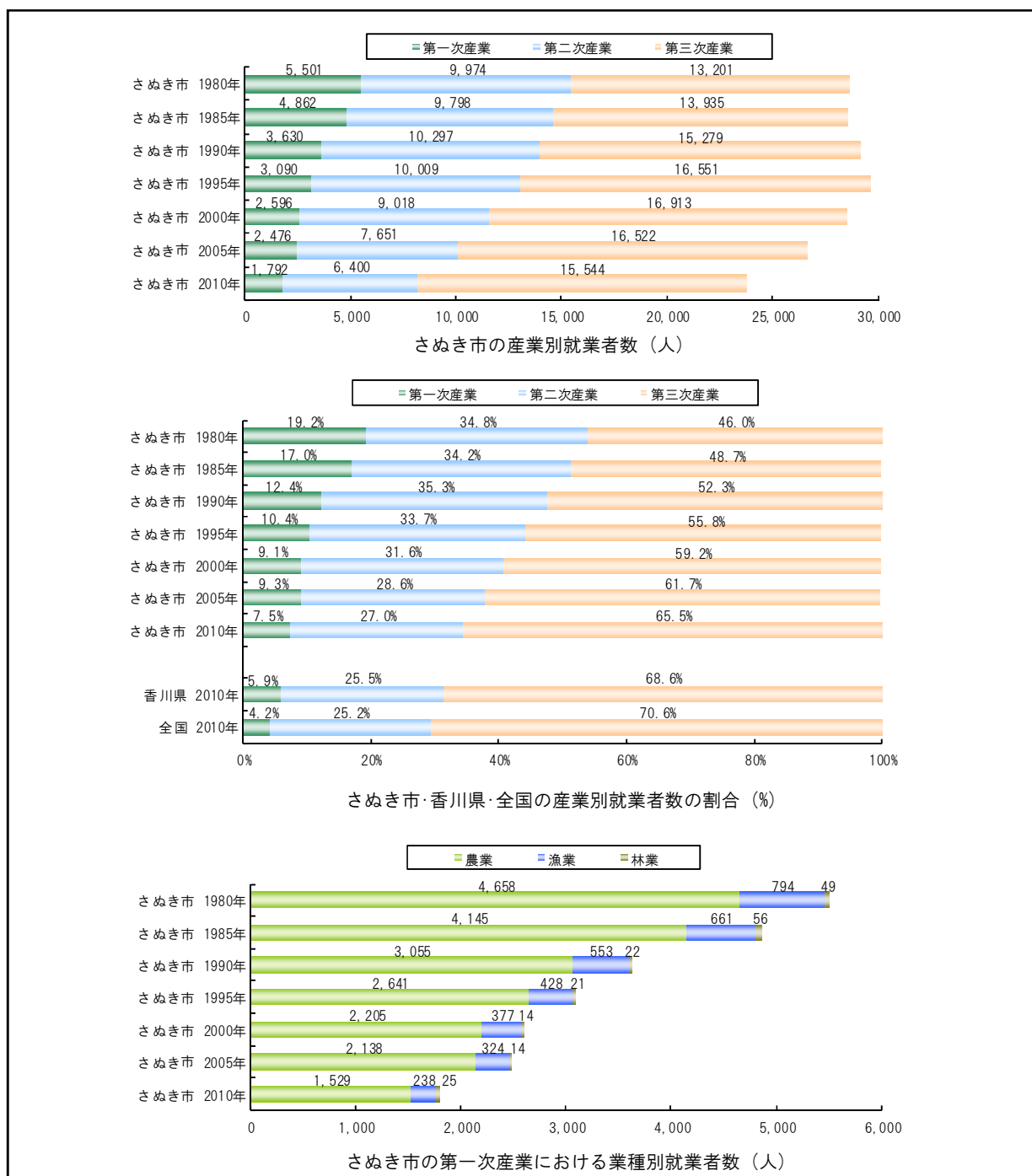


図 2-4 産業別就業者数割合(平成22年[2010年])

※ 出典：さぬき市市勢要覧2009・さぬき市都市計画マスタープラン・平成22年国勢調査

2-5 交通

さぬき市の交通網は東西方向に高松自動車道、国道11号、(主)三木津田線、JR高徳線、南北方向に(主)志度山川線、(主)津田川島線が通っています。高松からは、長尾と志度に高松琴平電気鉄道で繋がっています。

また、交通におけるさぬき市の取組として、公共交通機関の利用促進に向けたパーク・アンド・ライド駐車場[※]の設置(さぬき市庁舎東)、コミュニティバスの運行などを行っています。

第2次さぬき市総合計画では、年間運行委託経費の削減率、コミュニティバス収支比率の改善率、コミュニティバスの年間利用者数について具体的な目標値を定めています。

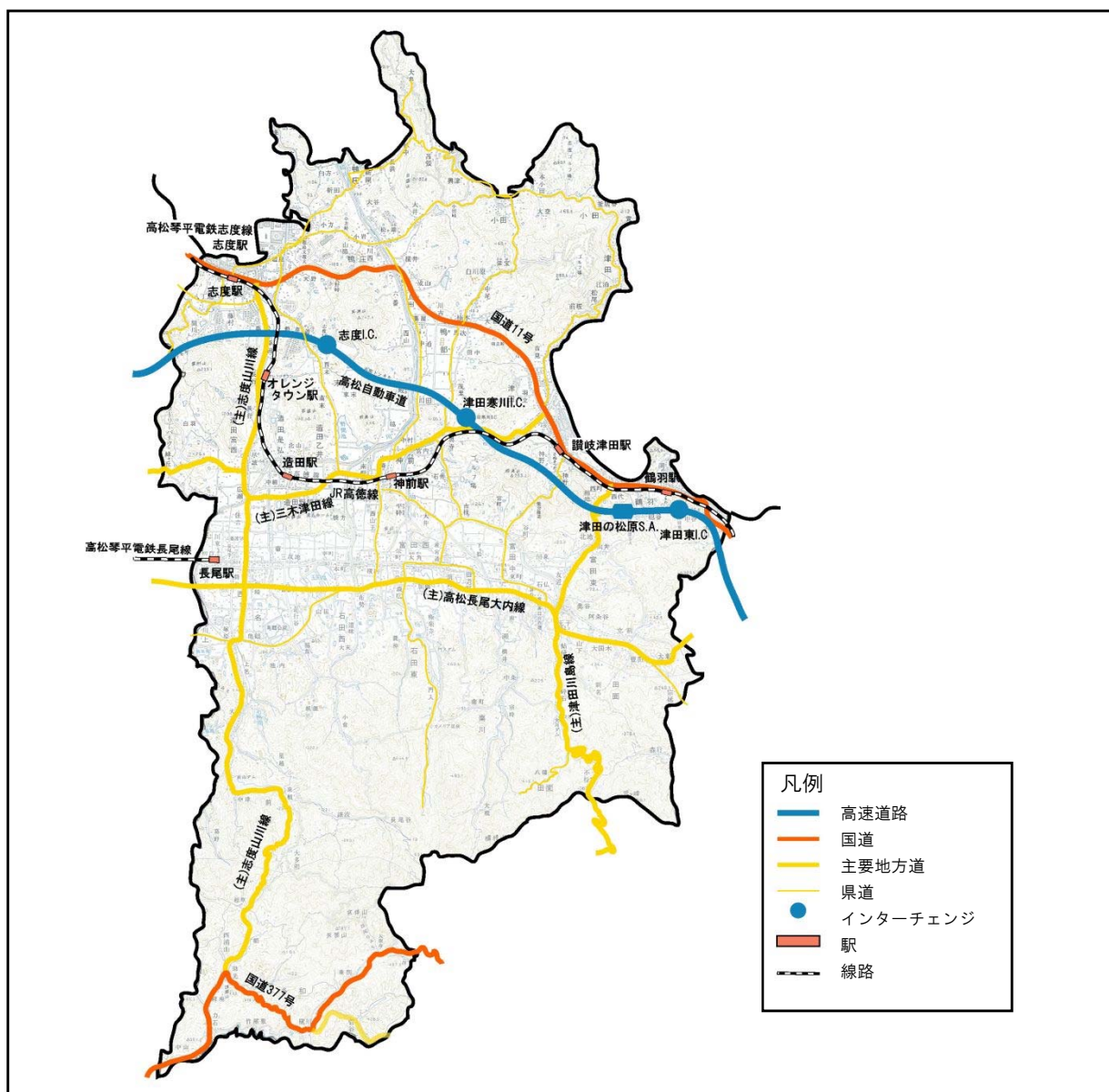


図2-5 さぬき市の主要な交通網

※ 出典：第2次さぬき市総合計画・さぬき市都市計画マスタープラン

WORD

※ パーク・アンド・ライド：最寄りの駅やバス停に車を駐車させて、目的地までは公共交通機関を利用するシステム。

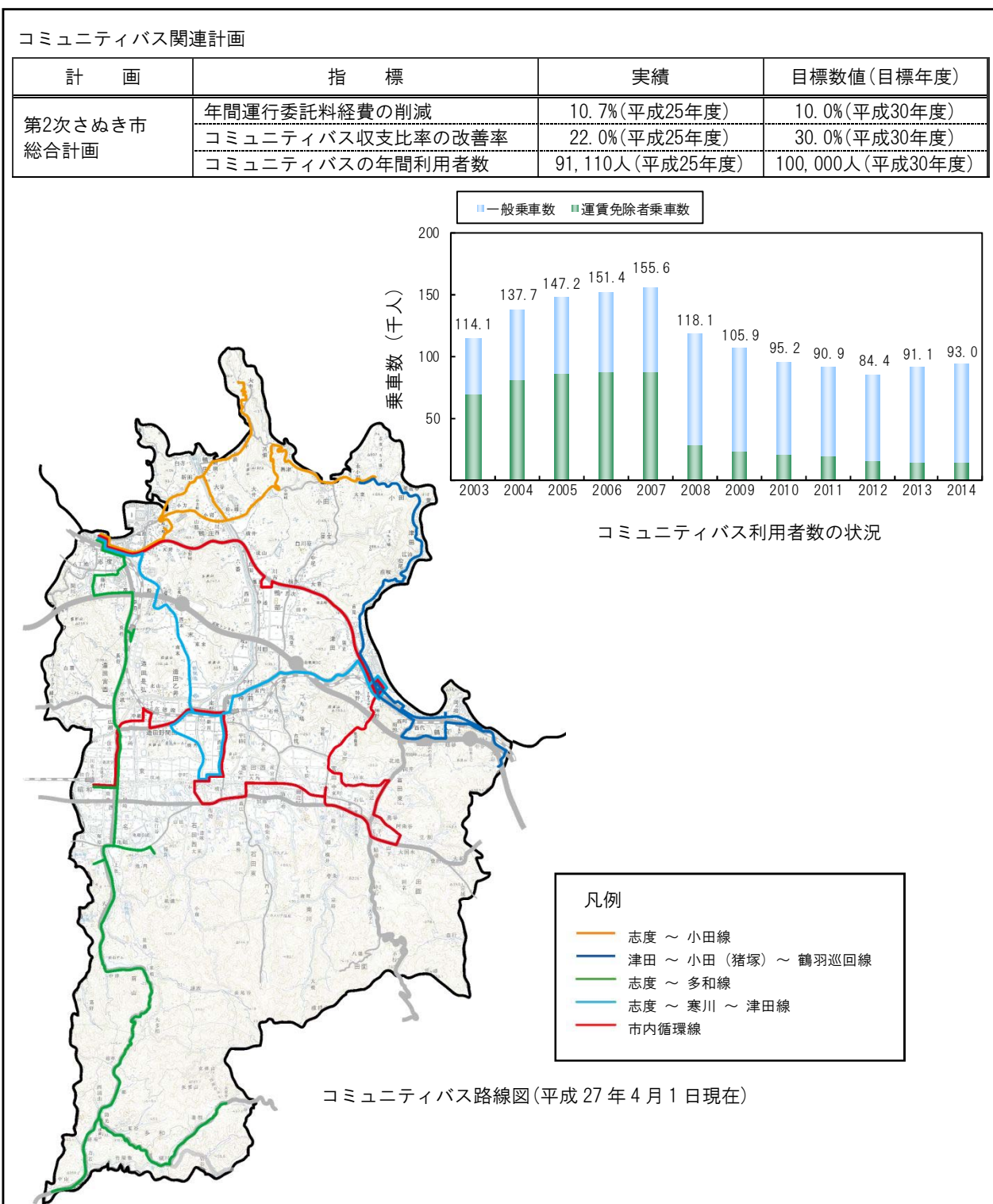


図 2-6 さぬき市コミュニティバスについて

※ 出典：さぬき市コミュニティバス運行条例・さぬき市HP・第2次さぬき市総合計画

2-6 上水道と下水道

(1) 上水道

さぬき市の上水道、および簡易水道^{*}では、一部の高所地区を除いてさぬき市全域と三木町の一部に給水を行っています。水源は表流水を6,000m³/日、浅層地下水を18,175m³/日としているほか、香川県水道用水供給事業より浄水を受水(上水道と簡易水道を合わせて9,100m³/日)しています。

表流水の水源は前山ダム、石神池、門入ダムですが、近年、取水量が減少しているとの情報もあります。

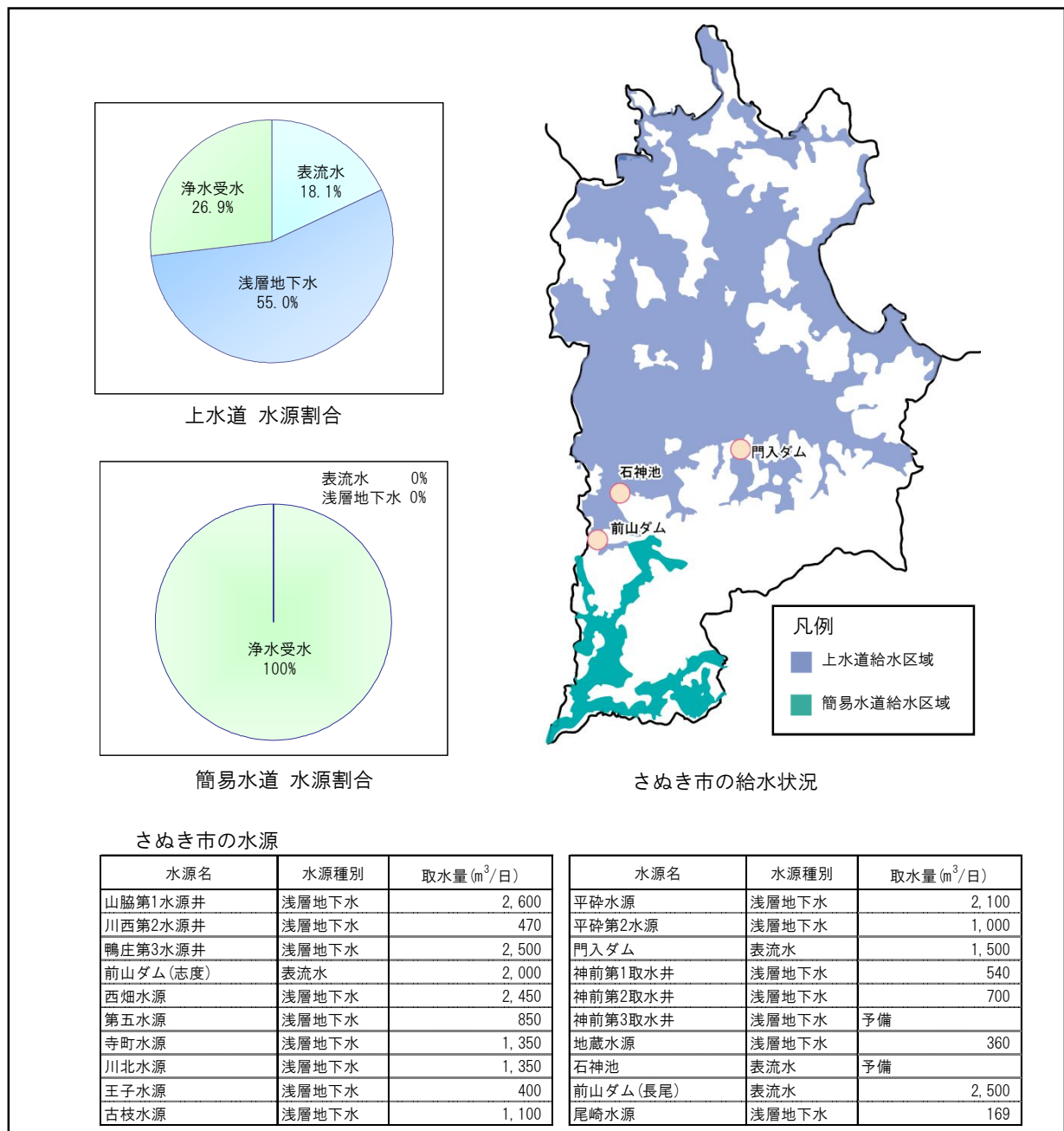


図2-7 さぬき市の上水の状況

※ 出典：さぬき市水道ビジョン

WORD

※ 簡易水道：給水人口が5千人以下である水道のこと。

(2) 下水道

さぬき市の汚水は主に下水道・集落排水・浄化槽により処理されています。第2次さぬき市総合計画、都市計画マスタープラン、香川県全域生活排水処理構想で汚水処理人口普及率※などの目標値が定められており、計画的に整備を進めています。下水道の大きな課題の一つに、単独処理※から下水道や浄化槽への切り替え推進が挙げられます。

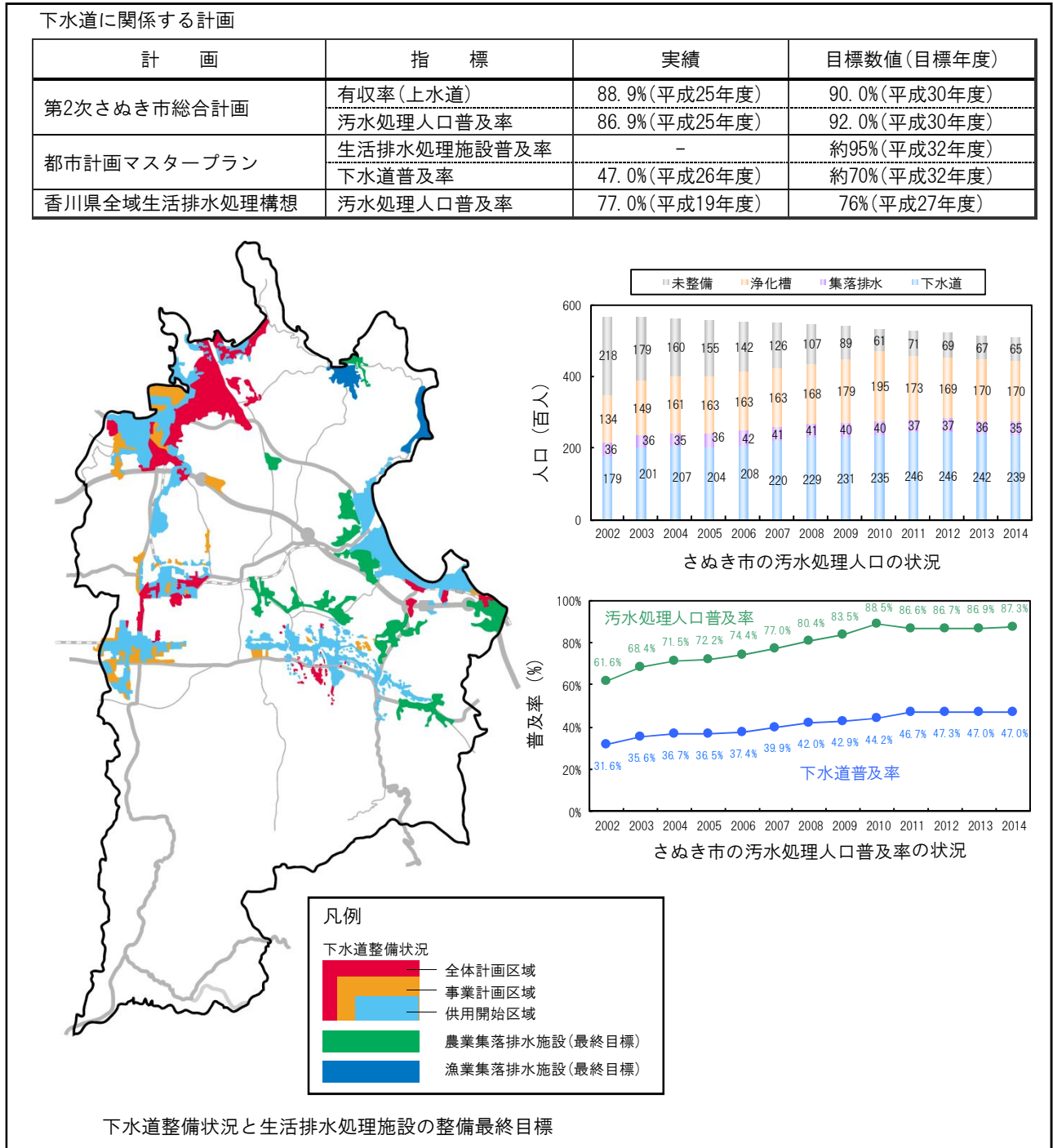


図2-8 さぬき市の下水の状況

※ 出典：さぬき市総合計画基本計画・さぬき市都市計画マスタープラン・香川県全域生活排水処理構想・かがわの下水道HP

WORD

※ 汚水処理人口普及率：汚水処理施設(下水道・農業集落排水・浄化槽など)の整備区域内の人口÷行政人口×100。
 ※ 単独処理：生活排水で台所や風呂などの排水を処理せずに、し尿のみを処理する方法。

第3章 さぬき市の環境

3-1 生活環境

(1) 大気

＊ 現状

さぬき市は大気汚染についての恐れは小さく、おおむね良好な状況が続いています。

香川県では、大気汚染の恐れのある地域に23箇所の常時監視測定局を置き、環境基準※(有害大気汚染物質以外)項目を自動測定しています。また、県内4地点で有害大気汚染物質を調査しています。

さぬき市では、これまで年4回大気測定車による調査を実施してきましたが、平成27年7月から香川県東讃保健福祉事務所に常時監視測定局を置き、観測を開始しました。さぬき市は、おおむね環境基準を満足し、大気の状態は良好といえます。

＊ 関連計画

第2次さぬき市総合計画では、大気に関する具体的な目標値として市道における改良率を定めています。また、現在の公共交通網のより効率的・効果的な活用や利用者への周知、パーク&ライド駐車場の利用効率の向上、地域公共交通網形成計画の策定検討などが盛り込まれています。

計 画	指 標	実績	目標数値
第2次さぬき市総合計画	市道における改良率	70.08%(平成25年度)	70.51%(平成30年度)

※ コミュニティバスについては第2章2-5参照

＊ 評価指標

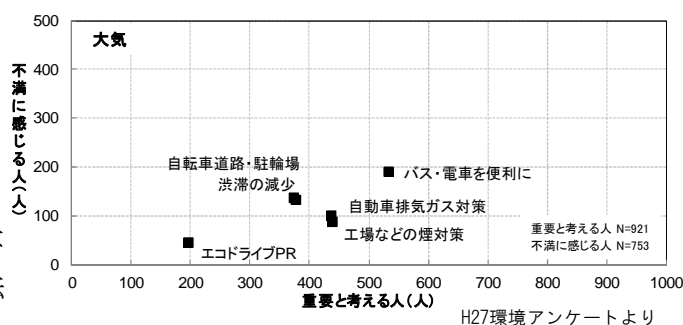
計 画	指 標	実績	目標数値
第2次さぬき市総合計画	コミュニティバス年間乗用人員	91,110人(平成25年度)	100,000人(平成30年度)

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- バス・電車の利便性の向上
- 自転車道路・駐輪場の整備
- 道路渋滞の緩和

「バス・電車の利便性の向上」を、重要・不満と感じる市民が多いようです。また、「自転車道路・駐輪場の整備」、「道路渋滞の緩和」について不満を感じる市民が多いようです。



＊ 問題点

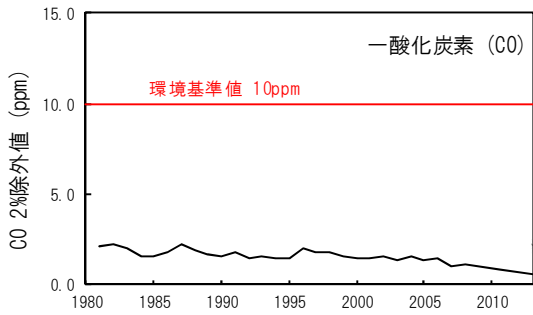
- 公共交通機関や自転車の利用について、利便性の向上に対する市民の要望が多いようです。

平成25年度 大気測定車によるさぬき市の大気調査結果（さぬき市津田支所）

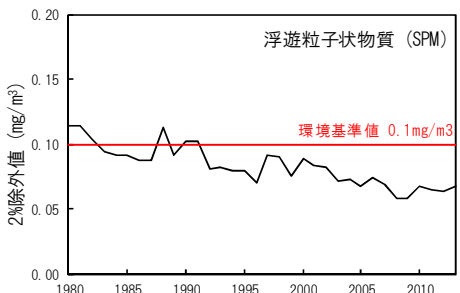
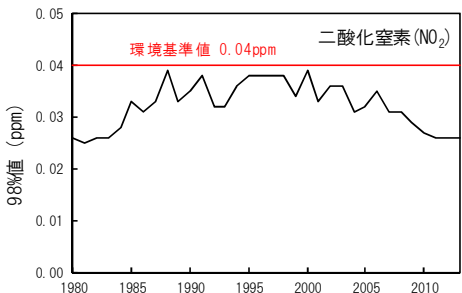
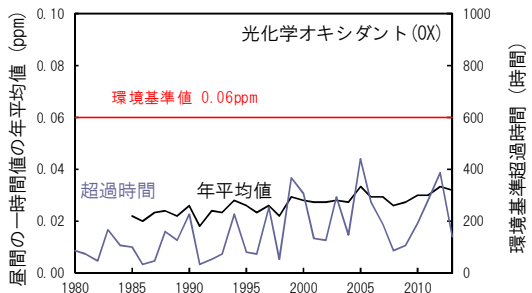
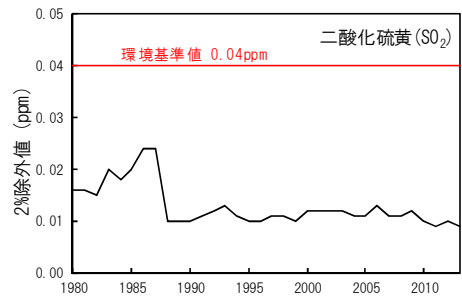
項目	単位	全調査期間の1時間値最大値	4回の調査における期間平均の平均値
二酸化硫黄(SO ₂)	ppm	0.012	0.002
二酸化窒素(NO ₂)	ppm	0.054	0.010
一酸化炭素(CO)	ppm	0.8	0.2
光化学オキシダント(Ox)	ppm	0.095	0.034
浮遊粒子状物質(SPM)	mg/m ³	0.12	0.020

※香川県東讃保健福祉事務所(常時監視測定局)では、平成27年7月から、二酸化硫黄(SO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)、一酸化窒素(NO)、二酸化窒素(NO₂)、光化学オキシダント(Ox)、微小粒子状物質(PM2.5)の測定を行っています。

※ 調査期間 平成25年7月1日～7月11日・平成25年10月2日～10月15日・平成26年2月4日～2月12日・平成26年3月19日～3月27日



花園(自排局)の大気調査結果



高松東消防局(一般局)の大気調査結果

図3-1 さぬき市の大気環境の状況 出典：香川県HP さぬきの空情報館・国立環境研究所HP 環境GIS

WORD
 ※ 環境基準：人の健康の保護と生活環境の保全の上で、大気、水、土壌、騒音について維持されることが望ましい基準を定めたもの。
 大気では、大気汚染に係る環境基準、有害大気汚染物質に係る環境基準、ダイオキシン類に係る環境基準がある。
 大気汚染に係る環境基準項目は二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダントがある。

(2) 水

＊ 現状

津田川の水質は良好な状況が続いていますが、鴨部川の水質は環境基準を超過しています。弁天川の水質は大幅に改善され、環境基準を満足しています。

さぬき市では11本の二級河川が指定され、多数の地点で水質調査を実施しています。水質に関する環境基準*では、鴨部川と津田川が環境基準A類型、弁天川がC類型に指定されており、さぬき市に面した海域全域が生活環境項目で海域A類型、全窒素全燐に関しては海域Ⅱ類型に指定されています。

河川の健康項目は、2014年(平成26年)に全調査で環境基準を満足しています。BOD*では、津田川の水質は良好な状況を維持し、環境基準を満足しています。鴨部川の水質は、2007年(平成19年)以降、環境基準を超過しています。弁天川の水質は大幅に改善し、2014年(平成26年)には環境基準を満足しています。海域では、COD*は環境基準を超過しています。全窒素、全燐は良好な状況を維持し、環境基準を満足しています。

＊ 上位計画と関連計画

第2次さぬき市総合計画では、水質に関連する污水处理人口普及率に具体的な目標値を定めています。都市計画マスタープランでは、污水处理人口普及率と下水道整備率の目標値を定めています(污水处理は第2章2-6を参照)。

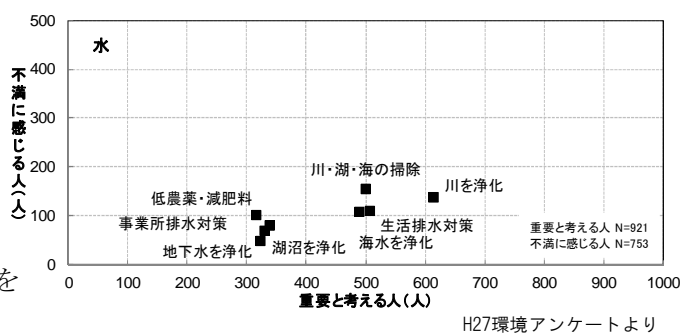
＊ 評価指標

計 画	指 標	実績	目標数値
水質汚濁に係る環境基準	主要河川の水質環境基準	津田川BOD 1.0mg/L(平成26年度) 鴨部川BOD 2.3mg/L(平成26年度) 弁天川BOD 4.7mg/L(平成26年度)	2.0mg/L 2.0mg/L 5.0mg/L
第2次さぬき市総合計画	污水处理人口普及率	87.3%(平成26年度)	92.0%(平成30年度)

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- 水辺(川・湖・海)の清掃活動
- 川の水の水質改善
- 生活排水の対策
- 海水の水質改善



「水辺の清掃活動」、「川の水の水質改善」を重要・不満とを感じる市民が多いようです。

また、「生活排水の対策」、「海水の水質改善」を重要と感じる市民が多いようです。

＊ 問題点

- 鴨部川、東讃海域(T-4地点)では、BOD、CODが環境基準を超過しています。
- 水辺の清掃活動、川の水の水質改善に対する市民の要望が多く、生活排水対策、海水の水質改善を重要と考えている市民も多いようです。

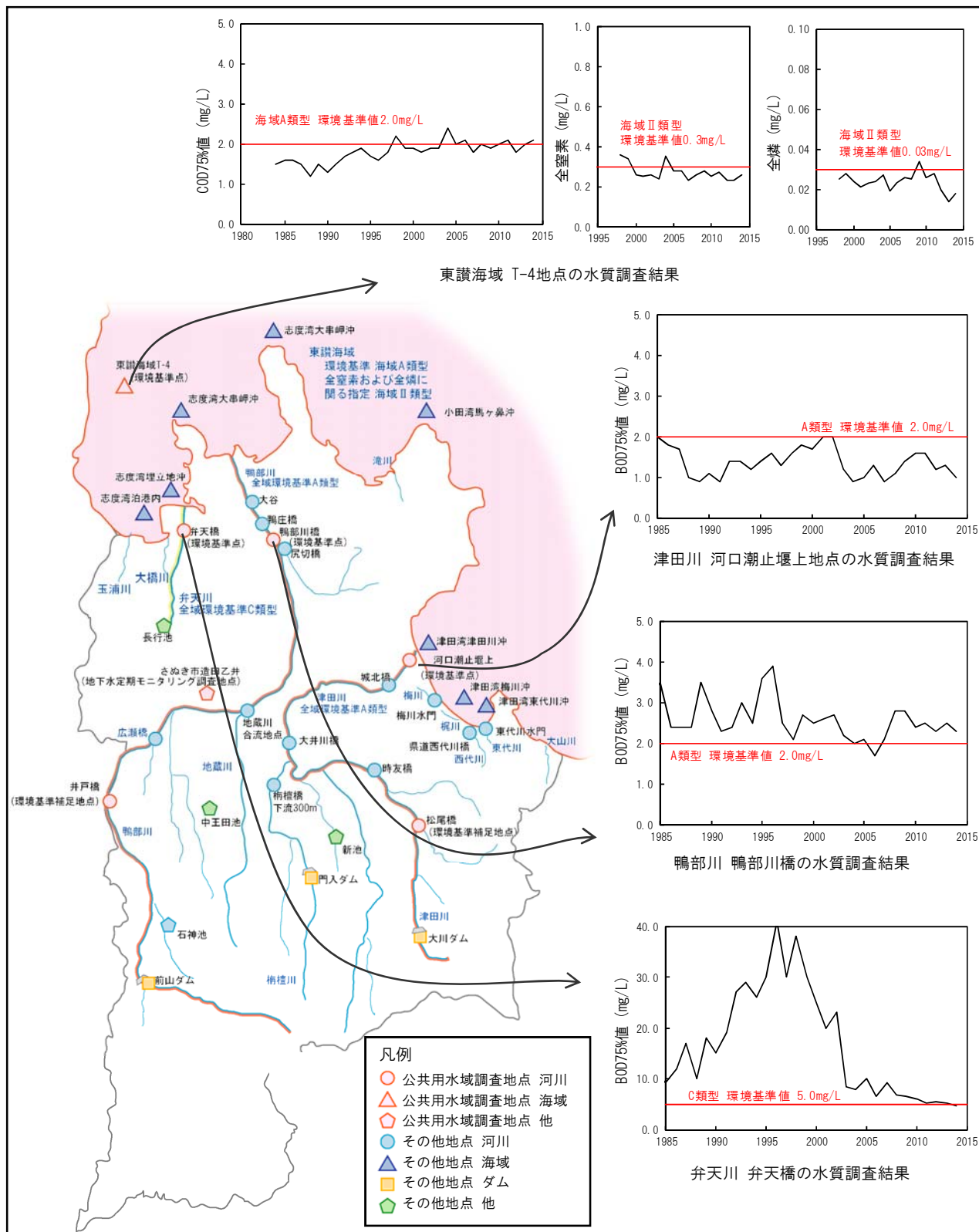


図3-2 さぬき市の水環境の状況

※ 出典：平成19年度水質測定計画 香川県・国立環境研究所HP 環境GIS・公共用水域水質測定結果・平成27年度版香川県環境白書

WORD

※ 環境基準：水質に係る環境基準は人の健康の保護(健康項目)と生活環境の保全(生活環境項目)、ダイオキシン類に係る環境基準がある。健康項目はカドミウムなど26項目に基準値が設定されている。生活環境項目は汚濁状況や位置などによって水域が類型指定され、類型ごとにBOD(COD)などに基準値が設定されている。湖沼、海域には富栄養化に関係する基準として、全窒素・全磷に係る基準値も設定されている。

※ BOD・COD：水の汚れ(有機汚濁物質)の指標の一つ。一般的に河川はBOD、海域はCODで評価する。

(3) 騒音・振動・土壌・悪臭

＊ 現状

騒音、振動、土壌、悪臭の大きな問題は発生しておらず、良好な状況です。

【騒音】騒音では、さぬき市は、環境基準の地域の類型に一部地域を除き指定されており、騒音規制法に基づく規制地域に指定されています。

香川県全体の環境基準達成状況は、一般地域の環境騒音では、他市町村33地点で調査した結果、全日にわたっての達成率が97%でした。また自動車騒音では、さぬき市の環境基準達成状況は94.9%でした(香川県内32地点で実施)。

【振動】振動では、振動規制法で住居が集合している地域、学校、病院などの地域を指定して防止することとなっていますが、さぬき市に指定地域はありません(平成27年4月1日現在)。

【土壌】土壌では、有害物質を使用していた事業所を廃止する場合や、事業場跡地で土壌汚染の恐れが高い地域を指定地域に指定することとしています(土壌汚染防止法)。

さぬき市には該当する指定地域はありません(平成28年1月21日現在)。

【悪臭】悪臭では、悪臭の発生により被害が生じると考えられる住居の集合している地域を悪臭規制地域として指定し、工場、事業場に対し規制を行うこととしています(悪臭防止法)。

さぬき市は一部の地域を除き規制地域に指定されています(平成27年4月1日現在)。

＊ 上位計画と関連計画

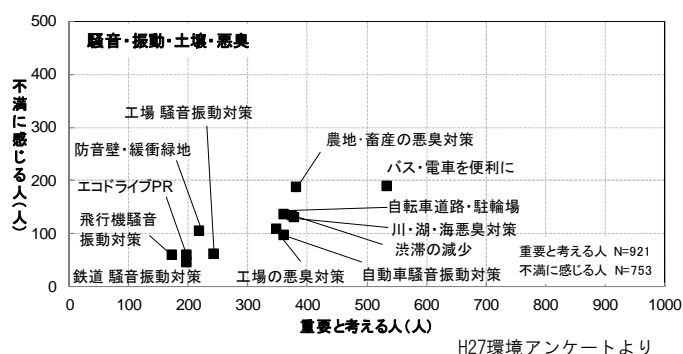
さぬき市総合計画、都市計画マスタープランに、騒音、振動、土壌、悪臭に関する具体的な目標値は定められていませんが、道路交通騒音・振動に間接的ではあるが、道路交通の混雑緩和や公共交通機関の利用促進などが盛り込まれています。

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- バス・電車の利便性の向上
- 農地・畜産の悪臭防止

「バス・電車の利便性の向上」、「農地・畜産の悪臭防止」を、重要・不満と感じる市民が多いようです。特に一般のごみの野焼きについては、洗濯物へにおいがうつるといった問題があげられました。



＊ 問題点

- 騒音調査は実施されておらず、市内の騒音の状況について十分把握できていません。
- バスや電車などの公共交通機関の利便性の向上や、一般のごみの野焼きや農地・畜産から発生する悪臭の防止に対する市民の要望も多いようです。

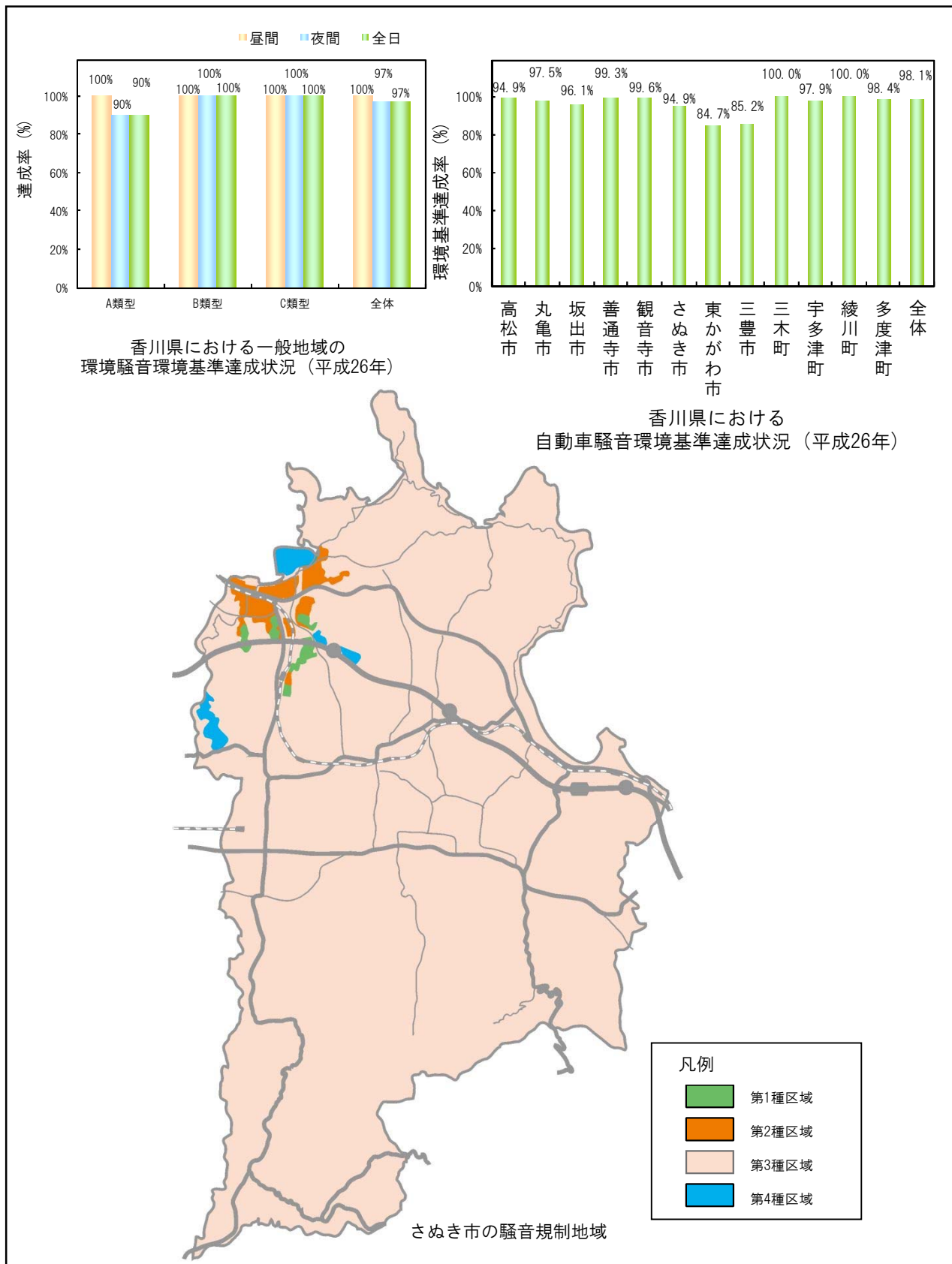


図3-3 さぬき市の騒音の状況

※ 出典：国立環境研究所HP 環境GIS・平成27年度 香川県環境白書

3-2 自然環境

(1) 自然

＊ 現状

海岸部、山間部、平野部の田園地域など、多様な自然地域を有していますが、維持・管理が不十分、情報発信の不足、アクセスが悪いなどの問題を抱えています。

さぬき市では大串半島や津田の松原をはじめとする海岸部、みろく公園や女体山などの山間部、それらに囲まれた平野部の田園地域など、多様な自然環境を有し、多数の自然保護地域などが指定されています。しかしながら、アクセスが悪い、情報発信が不足しているといった問題を抱えています。

＊ 上位計画と関連計画

第2次さぬき市総合計画は、緑地[＊]の確保について目標値を定めていませんが、都市計画マスタープランでは緑地確保について具体的な目標値を定めているほか、緑地や河川、海岸の自然の環境保全に関する「自然的環境保全に関する基本方針」を定めています。

計 画	指 標	目 標 指 標(目 標 年 度)
都市計画 マスタープラン	緑地 [＊] 確保目標面積	2,300ha(平成32年)
	緑地確保目標	30%(平成32年)
	都市計画区域内人口1人あたりの 都市施設としての緑地の確保目標面積	36.0m ² /人(平成32年)

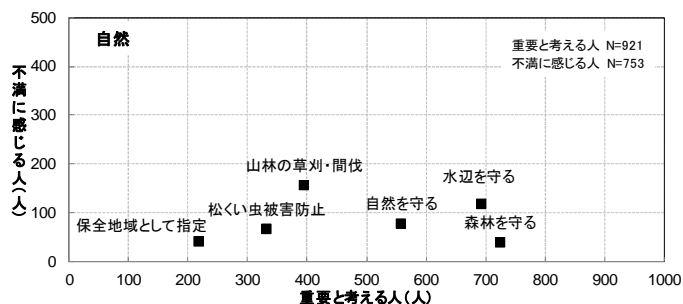
※「緑地」とは、自然公園地域、森林地域、施設緑地の面積の合計とする。

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- 水辺の保全
- 山林の草刈り・間伐
- 森林の保全・自然の保全

「水辺の保全」を、重要・不満と感じる市民が多いようです。「山林の草刈り・間伐」を不満、「森林や自然の保全」を重要とを感じる市民が多いようです。



H27環境アンケートより

＊ 問題点

- 水辺・森林・自然の保全を重要と考える市民が多く、山林の草刈り・間伐に対する市民の要望も多いことから、身近な水辺の保全や山林の維持・管理が重要です。
- さぬき市内の公園や琴林公園(津田の松原)や大串自然公園などの自然景勝地の中には、アクセスが悪い、情報量の不足、管理が不十分といった問題を抱えているものがあります。

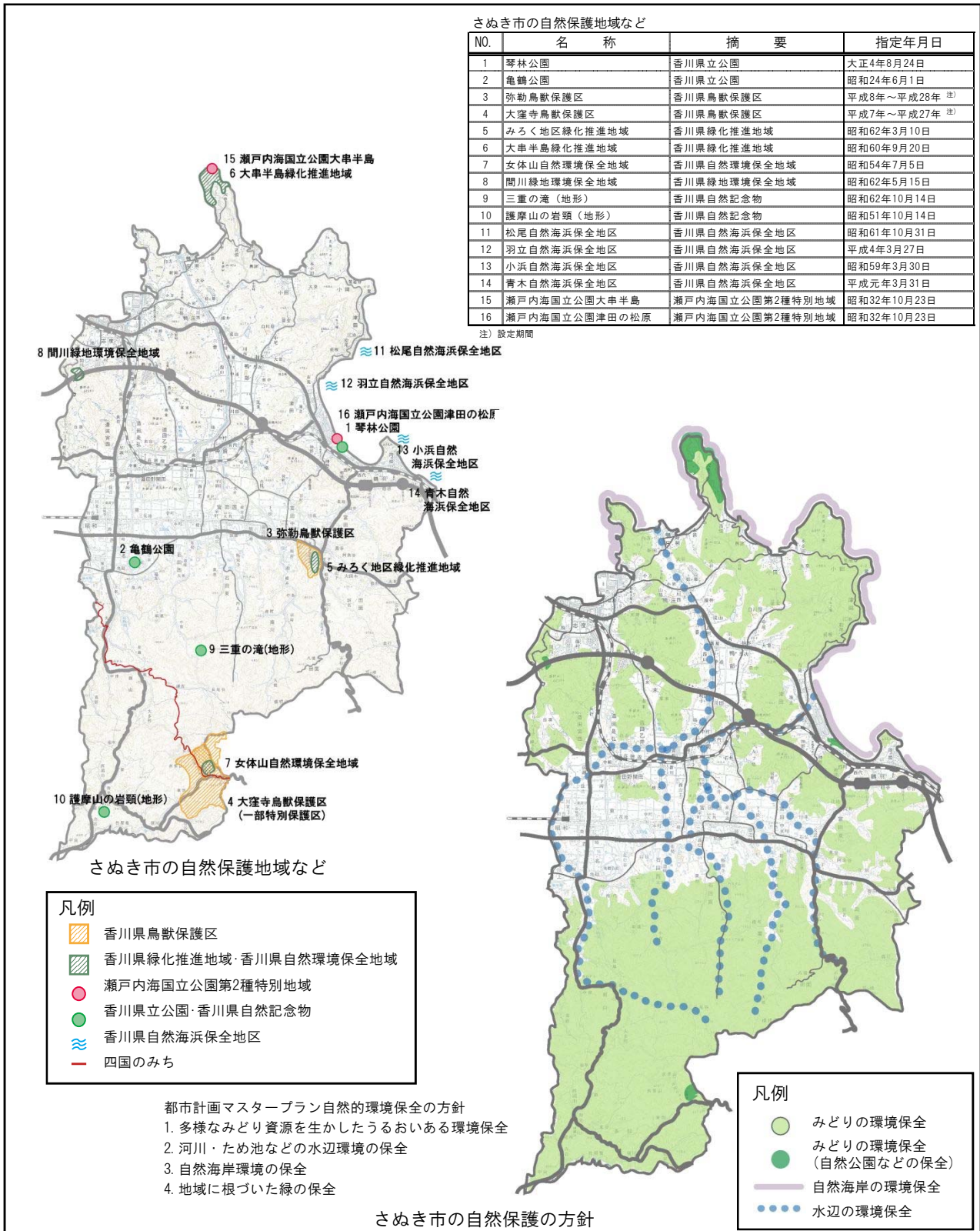


図3-4 さぬき市の自然の状況

※出典：さぬき市都市計画マスタープラン・さぬき市勢要覧2009資料編・香川の自然保護マップ・平成27年度鳥獣保護区等位置図

WORD

※ 緑地確保面積：「緑地」は自然公園地域・森林面積・施設緑地の面積合計とし、緑地面積を区域内人口で割ったもの。

(2) 動物と植物

＊ 現状

多様な自然環境に応じて多種の動植物が生息、生育しています。
希少な種であるニッポンバラタナゴの県内の生息地のほとんどがさぬき市にあります。

【希少生物】 さぬき市には、香川県の「指定希少野生生物」に指定されているニッポンバラタナゴ（平成18年5月指定）とカワバタモロコ（平成22年6月指定）が生息しています。ニッポンバラタナゴは「香川県指定希少野生生物＊保護事業計画」の対象種でもあり、さぬき市では、山際の小規模な溜池とその下流域の河川などで生息が確認されています。また、カワバタモロコは、鴨部川水系の水路で生息が確認されています。

【動物】 さぬき市は海岸線、鴨部川、津田川などの河川、平野部、多くのため池、里山などの多様な自然環境から構成されているため、豊かな生息環境に恵まれ多様な動物や植物が生息しています。

【植物】 人の影響を受けない場合のさぬき市本来の自然植生は照葉樹林です。このため、人の手の入らない社寺林や沢筋には、ヤブツバキ、アラカン、コジイなどがみられ、クスノキ、クロガネモチなどの巨木も多く残っており、多くの木が香川県指定天然記念物などに指定されています。原生林などはありませんが、人里の多様な自然環境に応じて多種の植物が生育しています。

＊ 上位計画と関連計画

第2次さぬき市総合計画では、有害鳥獣捕獲頭数や森林ふれあい体験回数について、具体的な目標値を定めています。都市計画マスタープランでは具体的な目標値は定められていませんが、自然環境の保全の中で、動物や植物の生息地域としての保全がうたわれています（(1)自然参照）。

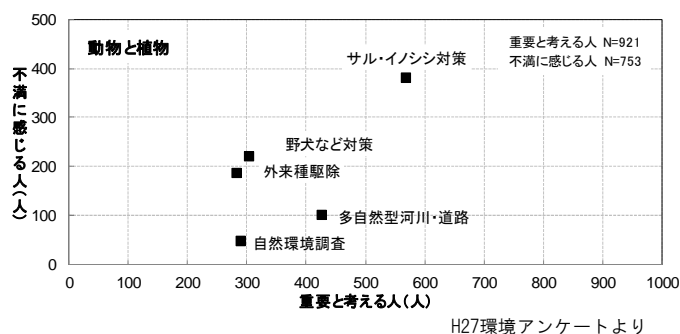
計 画	指 標	実 績	目 標 指 標(目 標 年 度)
第2次さぬき市 総合計画	有害鳥獣捕獲頭数	254頭(平成25年度)	350頭(平成30年度)
	森林ふれあい体験回数	2回(平成25年度)	3回(平成30年度)

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- サル・イノシシ対策
- 野犬などの対策、外来種の駆除

「サル・イノシシの対策」を、重要・不満と感じる市民が多く、「野犬などの対策」、「外来種の駆除」を不満、「多自然型河川・道路づくり」を重要と感じる市民が多いようです。

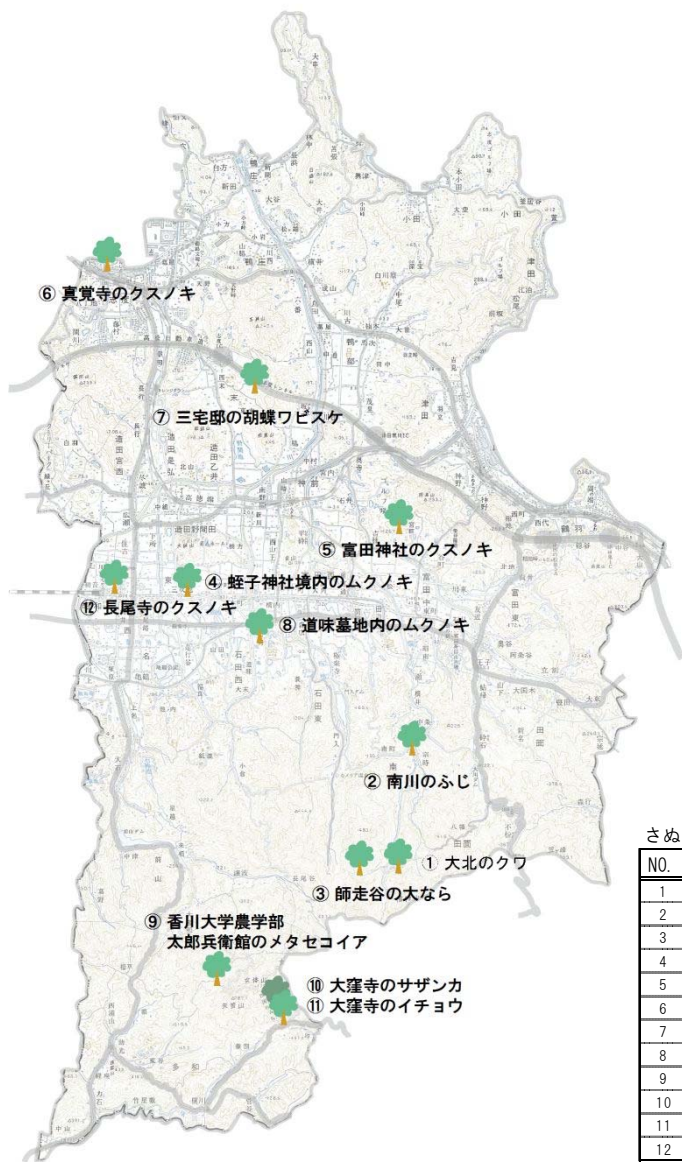


＊ 問題点

- さぬき市は希少な生物の保護、多様な自然を有するため、自然環境の保全が必要です。
- サル・イノシシなどの野生動物や野犬への対策、ブラックバスなどの外来種の駆除に対する市民の要望が多く、生き物が住みよい川・道路づくりを重要と考える市民も多いようです。

さぬき市の動物の様子

類	さぬき市の動物の状況
哺乳類	・市内全域でノウサギ、タヌキ、キツネ、イタチ、テン、アナグマ、ハクビシンがよく見られる ・南部の山間部でニホンザル、イノシシ、シカ、アライグマが見られる ・ニホンザル、イノシシによる農林産物の被害が増加している ・海岸部でスナメリが見られる
鳥類	・キジ、ウグイス、メジロなどが見られる ・カラスやドバトによる果樹・野菜の被害が増加している
両生類 爬虫類	・ヘビ類はシマヘビ、ヤマカガシ、アオダイショウ、マムシ、ジムグリ、ヒバカリ、シロマダラ、タカチホヘビが市内全域に見られる ・トカゲ類は、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、ニホンヤモリが市内全域に見られる ・カメ類はクサガメが見られ、個体数は少ないがスッポンも見られる ・カエル類については、アカハライモリ、カスミサンショウウオなどの個体数が激減している ・1955年に市内最南部・山間部の多和でタワヤモリが新種として発見された
昆虫類	・チョウ類は60種ほど、トンボ類は約40種が確認されている ・大型のアゲハチョウ類は10種ほど見られ、個体数は少ないがオオムラサキも山間部で見られる ・クヌギ、アベマキ林ではカブトムシ、ヒラタクワガタ、ノコギリクワガタ、コクワガタなどが見られる ・ゲンジボタルが見られる水辺もある ・市内の昆虫相について調査されたことはあまりない
魚類	・淡水魚類は20数種が確認されている ・局地的にニッポンバラタナゴの生息が確認されてる



さぬき市の樹木

NO.	名 称	摘 要
1	大北のクワ	香川県指定天然記念物
2	南川のふじ	香川県指定天然記念物
3	師走谷の大なら	香川県指定天然記念物
4	蛭子神社境内のムクノ木	香川県指定天然記念物
5	富田神社のクスノキ	香川の保存木
6	真覚寺のクスノキ	香川の保存木
7	三宅邸の胡蝶ワビスケ	香川の保存木
8	道味墓地内のムクノキ	香川の保存木
9	香川大学農学部太郎兵衛館のメタセコイア	香川の保存木
10	大窪寺のサザンカ	香川の保存木
11	大窪寺のイチヨウ	香川の保存木
12	長尾寺のクスノキ	香川の保存木

図3-5 さぬき市の動物や植物の状況

※ 出典：香川県HP・さぬき市HP・さぬき市市勢要覧2005資料編・さぬき市市勢要覧2009

WORD

※ 香川県指定希少野生生物：香川県希少野生生物の保護に関する条例に基づき、特に保護を図る必要があると認められるものを「指定希少野生生物」として指定している。

3-3 その他の環境

(1) 快適環境

＊ 現状

瀬戸内海国立公園の特別地域が2箇所、都市公園などが25箇所あります。

さぬき市の公園では、瀬戸内海全域にわたる瀬戸内海国立公園と、都市公園などが25箇所あります(平成28年1月末)。瀬戸内海国立公園では大串岬、琴林公園が特別地域に指定されています。

都市公園では、市民の身近な公園(住区公園・地区公園)が16箇所、遊戯や運動など多目的の公園(総合公園)が3箇所あります。また、自然の風景を楽しむ公園(風致公園[※])や休息広場としての公園(広場公園)など、その他の公園が6箇所あります。さぬき市では、市民一人あたりの都市公園整備面積が、平成25年度には21.7㎡を達成しています。

＊ 上位計画と関連計画

第2次さぬき市総合計画では、公園整備に関する具体的な目標値が定められています。都市計画マスタープランでは整備に関する方向性について「公園緑地整備に関する基本方針」を定めています。

計 画	指 標	実 績	目標数値(目標年度)
第2次さぬき市 総合計画	市民一人当りの都市公園整備面積	21.7㎡(平成25年度)	21.7㎡(平成30年度)
	ポケットパーク [※] 設置箇所数	0(平成25年度)	4(平成30年度)

※平成25年度以降の累計箇所数

＊ 評価指標

計 画	指 標	実 績	目標数値
第2次さぬき市 総合計画	市民一人当たりの都市公園整備面積	21.7㎡(平成25年度)	21.7㎡(平成30年度)

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- 身近な公園や緑地の充実・維持管理
- 既存の公園などのPR・有効利用や維持管理

アンケート調査の結果からは、さぬき市への提案意見(自由記述)の第3位として、身近な公園を整備してほしいという要望があげられました。

また、こども未来会議(平成25年8月)では、さぬき市の素晴らしいところとして、琴林公園や大串自然公園、富田茶白山古墳などがあげられました。

さぬき市への意見(自由記述)の事例

- ・ 子どもが遊べる場所をつくってほしい〔10代男性・30代男性〕。
- ・ 子ども達が運動不足という結果がでていますが、公園が近くにありません〔40代女性〕。
- ・ みんなが楽しくすごせる、いこいの場(公園施設など)の整備をお願いします〔50代男性〕。
- ・ 身近な公園を整備してほしい〔60代女性〕。

など

H27 環境アンケートより

＊ 問題点

- 身近な公園や緑地の充実・維持管理に対する市民の要望が多いようです。
- 既存の公園などのPR・有効利用や維持管理を行っていく必要があります。

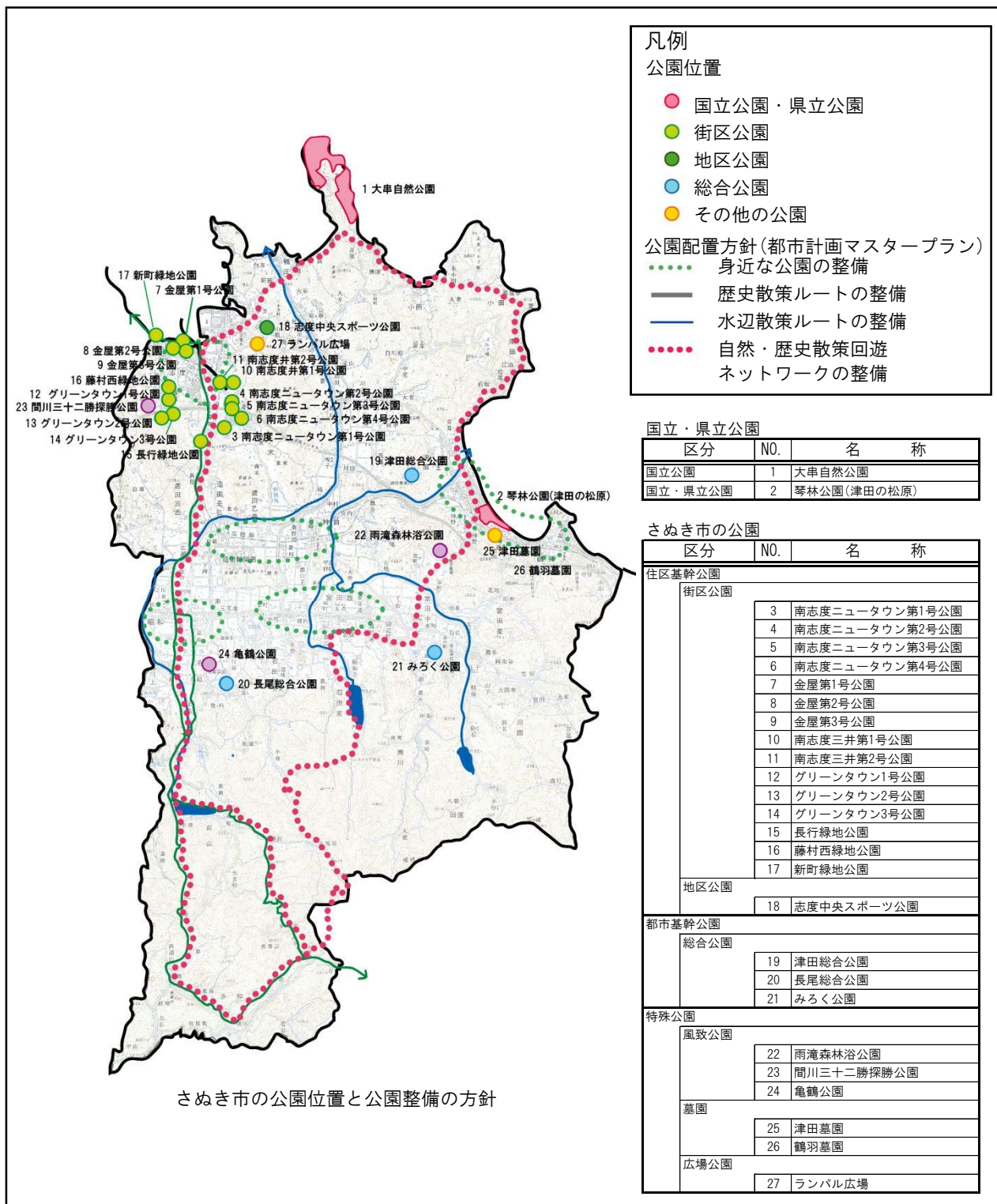


図3-6 さぬき市の公園などの状況

※ 出典：さぬき市都市計画マスタープラン・環境省HP 瀬戸内海国立公園区域図

WORD

- ※ 風致(ふうち)公園：都市公園法が定める都市公園である特殊公園のうち、主として風致(自然の風景などのおもむき、あじわい、風趣)の享受の用に供することを目的とする公園のことです。
- ※ ポケットパーク：道路整備や区画整理などで生まれた道路わきや街区内の空き地などのわずかの土地を利用した小さな公園または休憩所。

(2) 資源・廃棄物

＊ 現状

ごみ排出量は横ばい傾向ですが、リサイクル率は全国、香川県より上回っています。

さぬき市では、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみをステーション方式[※]で、粗大ごみをステーション方式と一箇所方式[※]で収集しています。ごみの排出量は概ね横ばい傾向にあります。リサイクル率は平成14年度以降、各種リサイクル法の整備などの効果もあって上昇し、全国、香川県を上回っています。

＊ 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画では、ごみ、リサイクルについて具体的な目標値を定めています。都市計画マスタープランでは、「その他都市施設整備に関する基本方針」で環境衛生施設などの整備方針として、廃棄物処理施設の維持管理と充実を掲げています。また、さぬき市では平成20年3月に一般廃棄物処理基本計画を策定しており、廃棄物処理とリサイクルについて具体的な目標値が定めています。

計 画	指 標	実 績	目標数値(目標年度)
第2次さぬき市総合計画	市民一人当たりのごみの排出量(年間) [※]	318kg(平成25年度)	312kg(平成30年度)
	ごみの資源化(リサイクル)率	26.9%(平成25年度)	28.4%(平成30年度)

※(可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ+資源ごみ)/市人口

＊ 評価指標

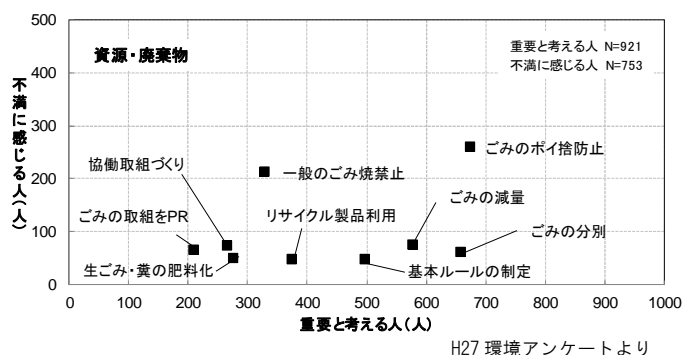
計 画	指 標	実 績	目標数値(目標年度)
第2次さぬき市総合計画	市民一人当たりのごみの排出量(年間)	318kg(平成25年度)	312kg(平成30年度)
	ごみの資源化(リサイクル)率	26.9%(平成25年度)	28.4%(平成30年度)

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- ごみのポイ捨て防止
- ごみの野焼きの防止
- ごみの量の削減・ごみの分別
- 基本ルールの策定

「ごみのポイ捨て防止」を重要・不満、
「ごみの野焼きの防止」を不満と感じる市民が多いようです。また「ごみの量の削減」、
「ごみの分別」、「基本ルールの策定」を重要と考える市民が多いようです。



＊ 問題点

- 1人1日当たりのごみ排出量は減少傾向にありますが、目標は達成できていません。
- ごみのポイ捨てやごみの不法投棄、ごみの野焼きなどの対策についての要望が多いようです。

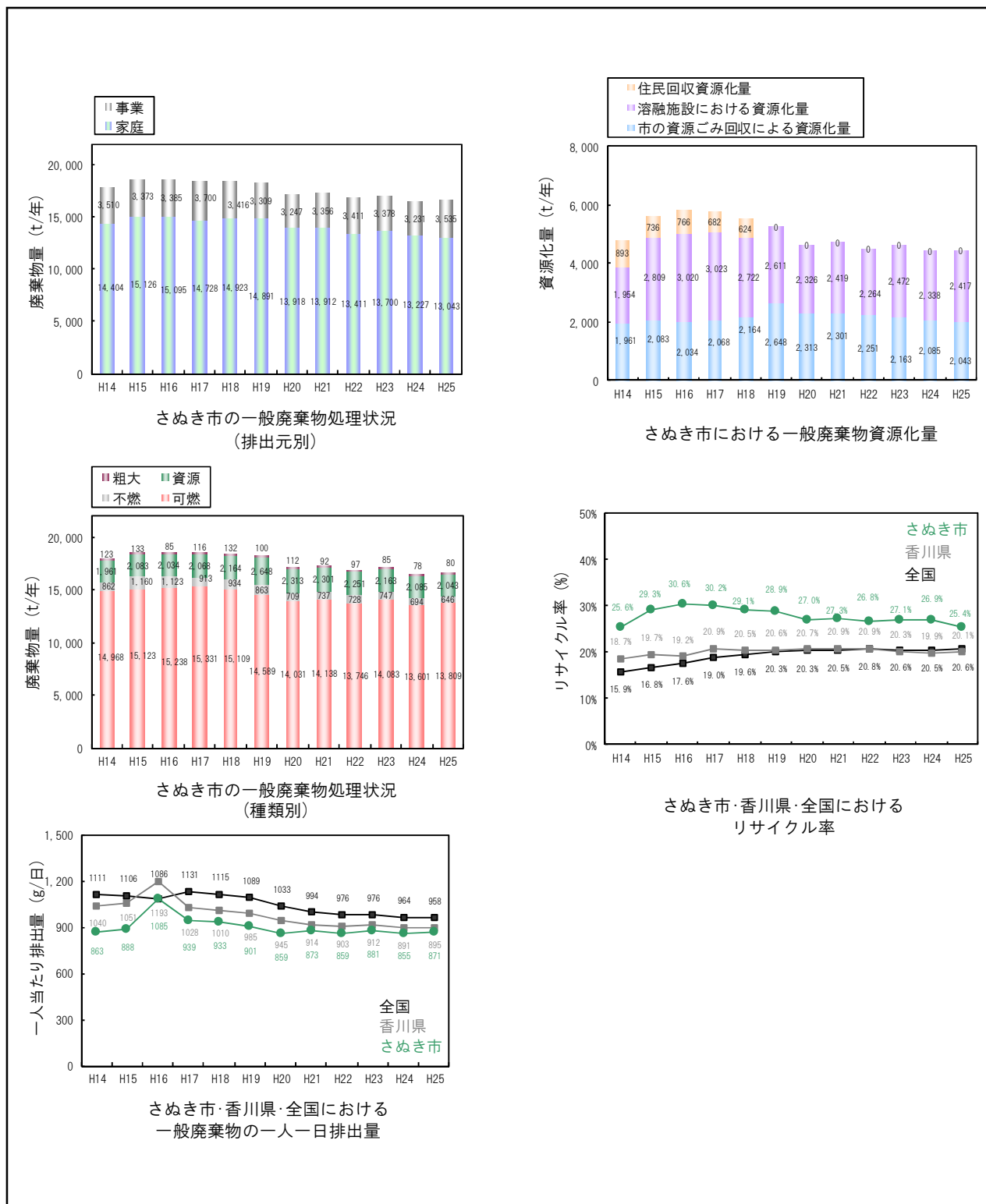


図3-7 さぬき市の廃棄物などの状況

※ 出典：さぬき市一般廃棄物処理実態調査・香川県HP・環境省HP

WORD

※ ステーション方式：ごみ収集方式の一つで、市民(自治会ごとなどの複数世帯)が、特定の場所(ごみステーション)に、ごみを出す方式です。

※ 一箇所方式：市民が、市が指定した収集場所にごみを持っていき、手数料を払って引取ってもらう方式です。

(3) 市民の取組

＊ 現状

時間や手間がかかるものや機会が必要な取組については、なかなか実施できない状況があります。若年層では環境保全活動に取り組んでいる人の数が少ない傾向があります。

さぬき市民は、全体の約1/3の人が環境保全活動に取り組んでいますが、若年層では環境保全活動に取り組んでいる人の割合が低い傾向がありました。取り組めない理由として最も多いのは「機会やきっかけがない」、つづいて「やり方が分からない」、「忙しくて時間がない」でした。

個々の取組については、環境にやさしいことを知っている人が多いほど、実際に取組を行っている人が多い傾向があり、ごみの分別、節電など、体制が整っている項目、日常的に配慮できる項目については、取組を行っている人が多いようです。一方で、徒歩・自転車で移動、清掃・美化活動など、時間や手間、機会が必要なものなどについては、取組を行っている人が少ないようです。

＊ 上位計画と関連計画

第2次さぬき市総合計画では、市民の取組についての具体的な目標値を定めています。

計 画	指 標	実 績	目 標 指 標(目 標 年 度)
第2次さぬき市 総合計画	環境保全活動回数(地域清掃) 参加者数*	11,688人(平成25年度)	12,100人(平成30年度)

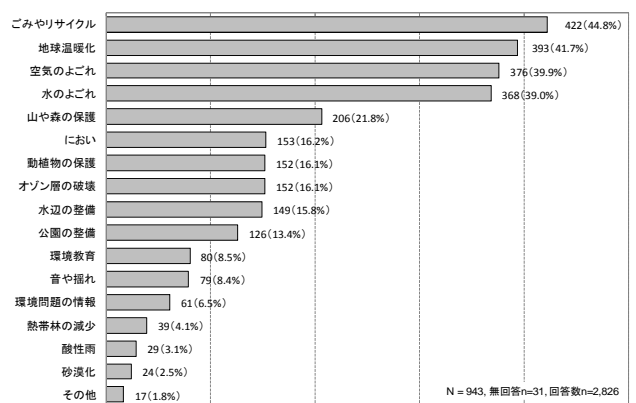
※ 環境保全活動実施に伴うごみ袋支給申請書による

＊ 市民の要望

市民が重要とした環境問題

- ごみ・リサイクル
- 地球温暖化
- 大気汚染・水質汚濁
- 山林の保護

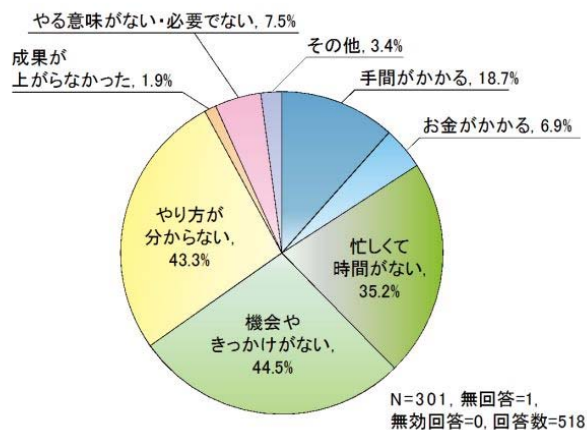
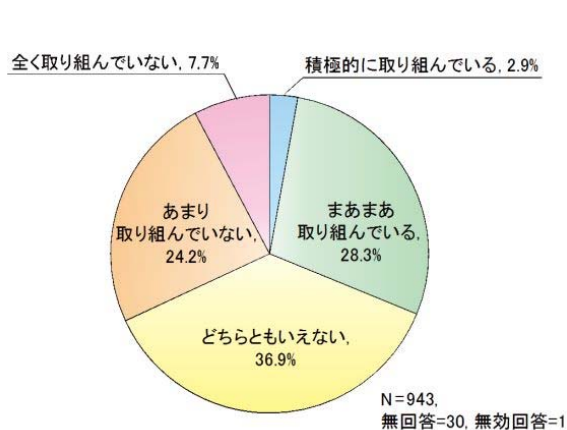
「ごみ・リサイクル」、「地球温暖化」、「大気汚染」、「水質汚濁」、「山林の保護」などの身近な環境問題を重要と考える市民が多いようです。



市民が重要と考えている環境問題・対策 (3つ選択)
H27環境アンケート

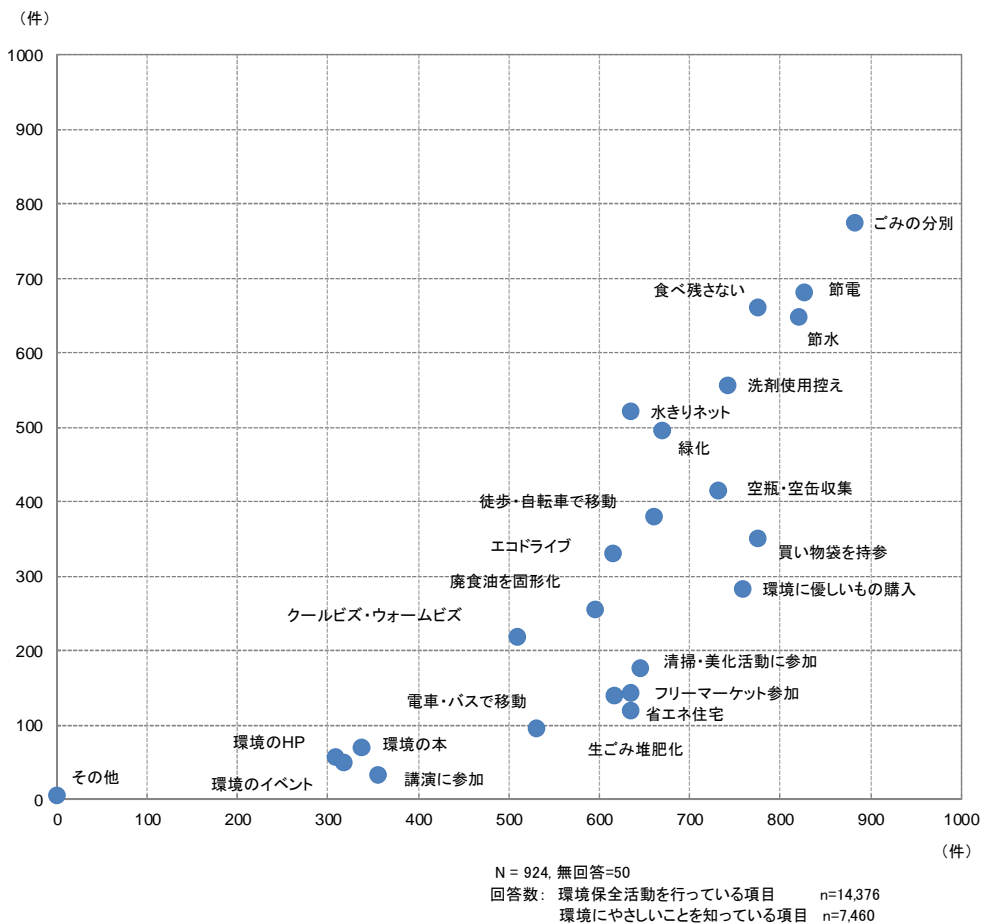
＊ 問題点

- 市民は「ごみ・リサイクル」を最も重要な環境問題としてとらえています。
- 若年層で環境保全活動に取り組んでいる人の割合が少ないようです。また、時間や手間、参加機会が必要なものについては、環境保全活動に取り組んでいる人の割合が少ないようです。



市民の環境保全への取組状況

環境保全に取り組めない理由として挙げている項目



環境に優しいことを知っている人と環境保全活動を行っている人の割合

図3-8 さぬき市の市民の環境保全への取組状況

※ 出典：平成27年 環境アンケート

(4) 地域の実践

※ 現状

環境美化活動など、地域の実践が盛んです。

さぬき市では、多数の市民の参加による環境に関係した活動が行われています。平成14年度国土交通大臣により表彰を受けた鴨部川アジサイ夢ロードの維持管理、清掃を実施している「鴨部川アジサイ夢ロード「造田の会」」、さぬき市を代表する自然景勝地である津田の松原の保全や植樹を実施している「八八松甞会」など、活動内容も多様です。

平成27年現在、さぬき市のボランティアセンターに登録されている環境保全活動の実践を行う団体として、「八八松甞会」、「花ねっと」、「癒しの森づくりの会」、「鴨部川アジサイ夢ロード・造田の会」、「昭和を美しくする会」、「花しょうぶを愛でる会」、「サンフラワー」、「さぬき里山会」、「おそうじ横丁」などがあげられます。

※ 上位計画と関連計画

第2次さぬき市総合計画では、環境に直接関係のある市民の活動についての目標値は定められていませんが、ボランティア活動全般に関する目標値を定めています。

計 画	指 標	実 績	目 標 指 標(目 標 年 度)
第2次さぬき市総合計画	ボランティア団体数※	62団体(平成27年度)	67団体(平成30年度)

※ ボランティアセンターに登録しているボランティア団体の数

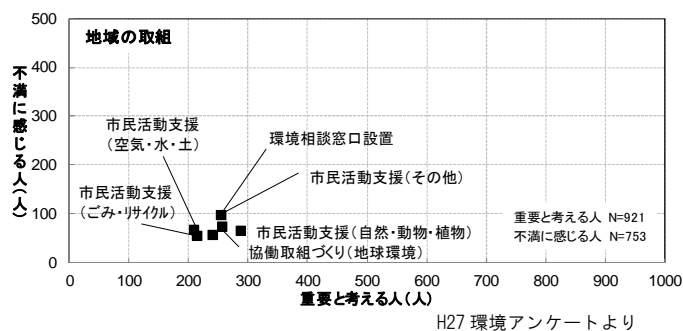
※ 市民の要望

市民が要望している項目

- 環境の相談窓口の設置
- 様々な市民活動への支援

「環境の相談窓口の設置」、「様々な市民活動について支援」の要望があります。

清掃・植栽・間伐などの環境保全活動や美化活動への支援があげられています。



※ 問題点

- 環境の相談窓口の設置、様々な市民活動への支援に対する市民の要望があります。



図3-9 さぬき市の環境に関する地域活動の状況

※ 出典：さぬき市調べ・さぬき市社会福祉協議会HP

(5) 環境情報・環境教育など

＊ 現状

学校教育の中で、様々な環境教育が実施されています。また、さぬき市HP上で、太陽光発電事業やパーク・アンド・ライド駐車場など一部の環境情報は公開されています。

小学校では、地域の自然をいかした環境教育を実施しており、各教科や特別授業での学習や、企業・地域・公共団体と協力した活動への参加など、様々な工夫を凝らした教育が行われています。また、さぬき市HP上などで、太陽光発電事業やパーク・アンド・ライド駐車場、空き家バンクなどの環境情報が公開されています。環境調査の結果などは、国、県などのHP上で一部見ることができます。

＊ 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画では、環境情報や環境教育を含め、市民と行政との情報や意識の共有化を図るため、ホームページアクセス件数について具体的な目標値を定めています。

計 画	指 標	実 績	目 標 指 標(目 標 年 度)
第2次さぬき市総合計画	ホームページアクセス件数	299, 165(平成25年度)	301, 000(平成30年度)

志度小学校

- 各教科で行う取組(全学年)
- 草花や野菜の栽培(1・3年)
- 水生生物飼育(2年)
- 弁天川の見学・調査(4年)
- 東部溶融クリーンセンター見学(4年)
- プール排水の用水路の掃除(5年)
- アルミ缶回収(6年)

さぬき北小学校

- 各教科で行う取組(全学年)
- 環境(昆虫)や水生生物に関する野外授業(1年など)
- 鴨部川水質調査、クリーン作戦(3年)
- 東部溶融クリーンセンター見学(4年)
- 海の環境、貝類の養殖について野外学習(4年)

津田小学校

- 各教科で行う取組(全学年)
- 松原・海岸清掃(特別活動)
- 地元の原材料を使用した商品加工の見学・体験(3年)
- 東部溶融クリーンセンター見学(4年)

造田小学校

- 各教科で行う取組(全学年)
- サツマイモの栽培(1年)
- 生き物さがし(2年)
- 桃づくりの学習(3年)
- 川の水生生物調査(4年)
- 東部溶融クリーンセンター見学(4年)

神前小学校

- 各教科で行う取組(全学年)
- 草花や野菜の栽培(1・2年)
- 昆虫観察・飼育(1・2・3年)
- 出前授業(水質、エネルギー、ため池)食廃油石けんづくり体験
- 東部溶融クリーンセンター見学(4年)

図3-10(1) さぬき市の環境教育の状況

＊ 評価指標

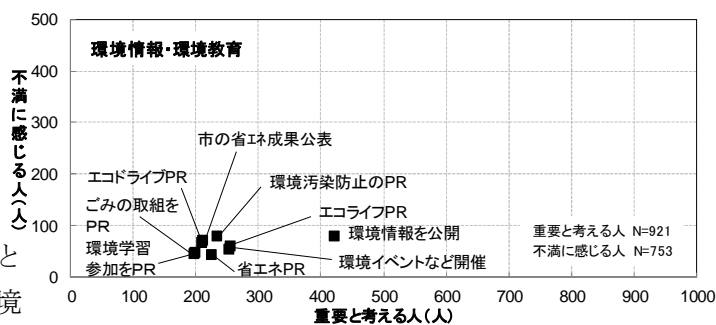
計 画	指 標	実 績	目 標 数 値(目 標 年 度)
第2次さぬき市 総合計画	ホームページアクセス件数	299,165(平成25年度)	301,000(平成30年度)

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- 環境の情報を公開する
- 各種環境情報のPR

「環境の情報を公開する」を、重要・不満と感じる市民が多いようです。また、各種の環境情報やさぬき市(行政)の環境への取組のPRについて市民の要望があります。



H27 環境アンケートより

＊ 問題点

- 各種環境情報やさぬき市の環境への取組についての情報公開や発信、PRが望まれています。

長尾小学校

- ・各教科で行う取組(全学年)
- ・草花や野菜の栽培(1・2・3年)
- ・東部溶融クリーンセンター見学(4年)
- ・温暖化防止についての学習(4年)
- ・親子ふれあいクリーン活動

さぬき南小学校

- ・各教科で行う取組(全学年)
- ・草花や野菜の栽培(1・2・4年)
- ・水土里ネットの出前授業「ため池について」(4年)
- ・節電、節水、ごみの減量についての学習(4年)
- ・東部溶融クリーンセンター見学(4年)

前山小学校

- ・各教科で行う取組(全学年)
- ・前山ダム湖畔公園の散策など(1・2年)
- ・野菜の栽培(1・2年)
- ・サツマイモの栽培、収穫(3年)
- ・草花や野菜の栽培(4年)
- ・東部溶融クリーンセンター見学(4年)

石田小学校

- ・各教科で行う取組(全学年)
- ・草花や野菜の栽培(全学年)
- ・ウサギ・メダカ飼育(3・5年)
- ・アルミ缶回収(全学年)
- ・東部溶融クリーンセンター見学、浄水場見学、地球温暖化防止学習(外部講師)、文具のフリーマーケット(4年)

図3-10(2) さぬき市の環境教育の状況

(6) 地球環境

＊ 現状

高松気象台の観測結果も温暖化の傾向が認められます。
家庭からのCO₂の排出量は動力他(照明・家電など)、自動車、給湯などが多いようです。

地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊などの地球環境問題は世界共通の課題であり、特に地球温暖化は深刻な状況にあります。高松気象台の気温観測結果でも温暖化の傾向が認められています。家庭からは照明・家電や自動車などを起源とするCO₂の排出量が多く、排出量も横ばいの状況です。

＊ 上位計画と関連計画

第2次さぬき市総合計画では、地球温暖化に関する具体的な目標値を定めおり、道路交通の混雑緩和や公共交通機関の利用促進などを盛り込んでいます(3.1(1)大気参照)。

計 画	指 標	実績	目標数値(目標年度)
第2次さぬき市総合計画	市内公共施設のエネルギー使用量*	1,296kℓ原油換算 (平成25年度)	1,200kℓ原油換算 (平成30年度)

※ 調査対象施設: 本庁、支所、市立保育所、温泉施設、火葬場

＊ 評価指標

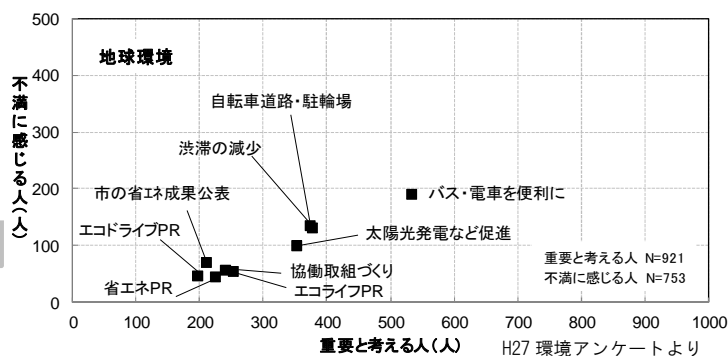
計 画	指 標	実績	目標数値(目標年度)
第2次さぬき市総合計画	市内公共施設のエネルギー使用量	1,246kℓ原油換算 (平成26年度)	1,200kℓ原油換算 (平成30年度)

＊ 市民の要望

- 市民が要望している項目
- バス・電車の利便性の向上
 - 自転車道路・駐輪場の整備
 - 道路渋滞の緩和
 - 太陽光発電などの設置促進

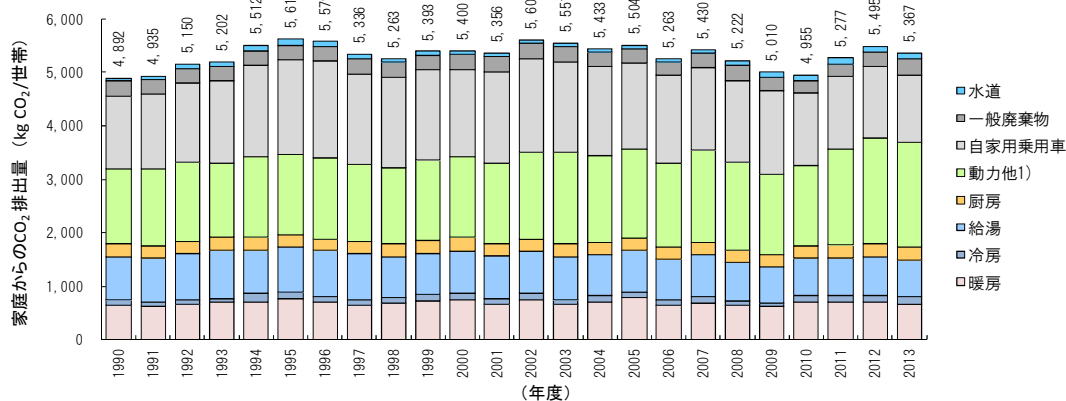
「バス・電車の利便性の向上」を、重要・不満とを感じる市民が多いようです。

また、「自転車道路・駐輪場の整備」、「道路渋滞の緩和」、「太陽光発電などの設置推進」についても、重要・不満とを感じる市民が多いようです。



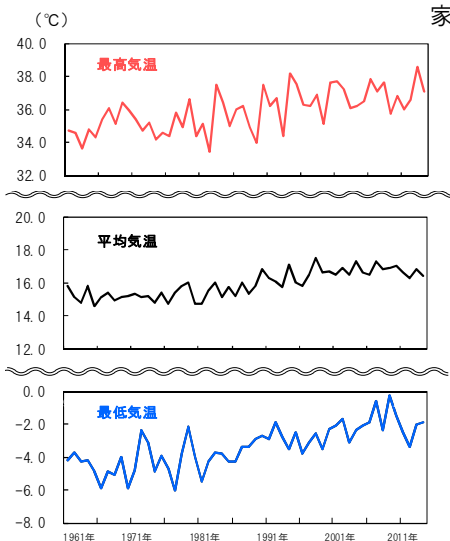
＊ 問題点

- 家庭からのCO₂排出量のうち、自家用自動車は約20%を、家庭の照明・家電などは約40%を占めており、バスや電車などの公共交通機関の利便性の向上や、家庭での省エネルギー・新エネルギー導入の取組の推進が必要です。

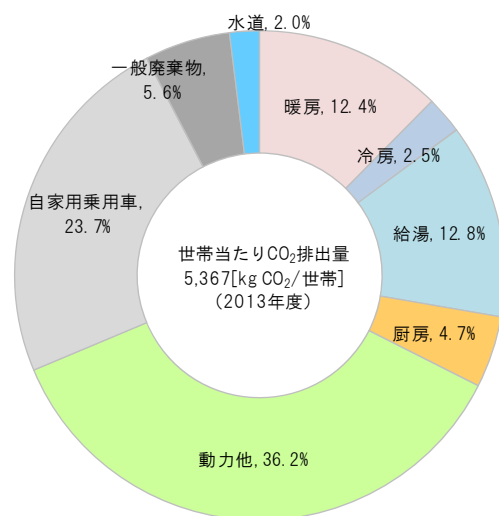


1) 電気を使用し、他の用途に含まれないものが含まれる。例：照明、冷蔵庫、掃除機、テレビなど。

家庭からのCO₂排出量の推移



高松気象台の気温の推移



家庭からのCO₂排出量 (2013年度)

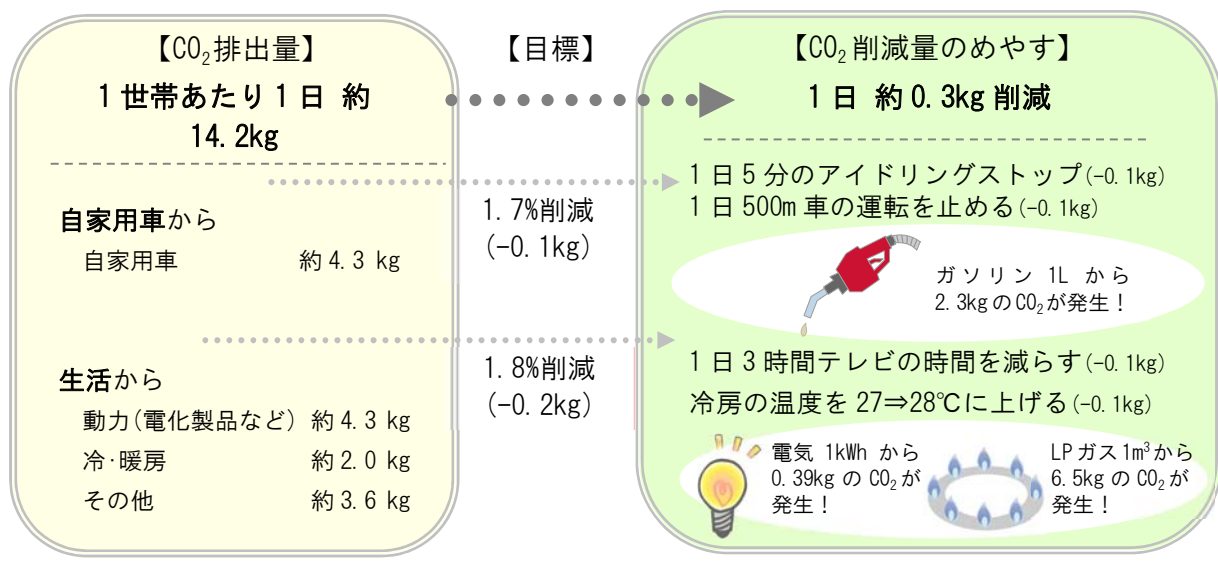


図3-11 さぬき市の地球温暖化の状況

※ 出典：気象庁HP・温室効果ガスインベントリオフィス(日本の温室効果ガス排出量データ(1990～2013年度確報値)(2015. 4. 23発表))・全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)HP(家庭のできる取り組み10項目)

3-4 さぬき市の環境の問題と課題

さぬき市の環境の現状をもとに、問題点を整理しました。

【 環境の現状 】

- ◆ 総合計画: 第2次さぬき市総合計画にある目標
- ◆ 市民の要望: H27環境アンケートで市民の要望が多い項目

生活環境



大気

- ◆ 現状の概要 おおむね良好です。
- ◆ 総合計画 市道の改良率に関する目標値があります。
パーク＆ライド駐車場、公共交通機関の利用などに関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「バス・電車の利便性の向上」「自転車道路・駐輪場の整備」「渋滞緩和」



水

- ◆ 現状の概要 津田川・弁天川の水質は良好ですが、鴨部川では環境基準を超過しています。
- ◆ 総合計画 川の水質改善、汚水処理の普及に関する目標が定められています。
- ◆ 市民の要望 「水辺の清掃活動」「川・海の水の水質改善」「生活排水の対策」



騒音・振動
土壌・悪臭

- ◆ 現状の概要 良好です。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
道路混雑緩和、公共交通機関の利用に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「バス・電車の利便性の向上」「農地・畜産の悪臭防止」

自然環境



自然

- ◆ 現状の概要 海域、山間、田園地域など多様な自然地域を有しています。
維持管理、情報発信、アクセス道路について改善が必要な景勝地があります。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
- ◆ 市民の要望 「山林の草刈り・間伐」「森林や自然、水辺の保全」



動物・植物

- ◆ 現状の概要 多種の動植物が生息、生育しています。
指定希少野生生物のニッポンパラタナゴ、カワバタモロコが生息しています。
- ◆ 総合計画 有害鳥獣捕獲頭数、森林ふれあい体験回数に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「サル・イノシシの対策」「野犬などの対策」「外来種の駆除」

その他の環境



快適環境

- ◆ 現状の概要 瀬戸内海国立公園の特別地域が2箇所、都市公園などが25箇所あります。
- ◆ 総合計画 都市公園整備面積、ポケットパーク設置に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「身近な公園や緑地の充実・維持管理」
「既存の公園などのPR・有効利用や維持管理」



資源
廃棄物

- ◆ 現状の概要 ごみ排出量は横ばい傾向で、リサイクル率は全国・香川県を上回っています。
- ◆ 総合計画 ごみの排出量、ごみのリサイクル率に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「ごみのポイ捨て防止」「ごみの野焼きの防止」、
「ごみの量の削減・ごみの分別」、「基本ルールの策定」



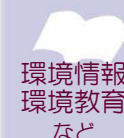
市民の取組

- ◆ 現状の概要 時間・手間・機会が必要な取組が知られておらず実施されにくい状況です。
- ◆ 総合計画 地域清掃参加者数に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「ごみ・リサイクル」「地球温暖化」「水質汚濁・大気汚染」
「山林の保護」（市民が重要と考える環境問題）



地域の取組

- ◆ 現状の概要 環境美化活動などの地域の取組が盛んです。
- ◆ 総合計画 ボランティア団体数に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「環境の相談窓口の設置」「様々な市民活動への支援」



環境情報
環境教育
など

- ◆ 現状の概要 小学校では様々な環境教育が行われています。
- ◆ 総合計画 さぬき市のHPアクセス件数に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「環境の情報を公開する」「各種環境情報のPR」



地球環境

- ◆ 現状の概要 香川県内での温暖化傾向が認められています。
家庭からのCO₂排出量は動力、自家用自動車、給油が大きな割合を占めます。
- ◆ 総合計画 市内公共施設のエネルギー使用量や、道路混雑、公共交通機関の利用に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「バス・電車の利便性の向上」「自転車道路・駐輪場の整備」「渋滞緩和」

- ★：第一期基本計画の目標が未達成なもの
- ★：アンケート結果で市民の要望が多いもの
- ：さぬき市全体に係る課題
- ：一部の地域に関係する課題

【 問題点 】

【 課題 】

- ◆ バスや電車、コミュニティバスの利便性向上が必要
- ◆ 「コミュニティバス年間乗用人員」が目標未達成

- 公共交通機関の利便性を向上させる方法の検討
- 交通拠点の利便性の向上



- ◆ 鴨部川では水質の改善が必要
- ◆ 水辺の清掃活動、川の水質改善の要望が多い

- 小規模事業場の排水対策の推進
- 下水道整備の推進、浄化槽の普及推進
- ボランティアなどによる清掃活動の活性化
- 鴨部川流域の生活雑排水や工場排水対策
- 住宅地域の用水路・排水路の維持管理



- ◆ 騒音調査が行われておらず状況把握が不十分
- ◆ バスや電車、コミュニティバスの利便性向上が必要
- ◆ 一般のごみ焼きや農地・畜産からの悪臭の発生

- 騒音の状況を把握できる体制の構築
- 公共交通機関の利便性を向上させる方法の検討
- 肥料の適正管理、家畜の糞尿対策の推進
- 一般のごみ焼きの防止



- ◆ 身近な自然の維持・管理が不十分
- ◆ アクセスが不便な自然公園や景勝地がある
- ◆ 自然公園や景勝地の情報発信が不十分

- 山林の管理体制の構築
- アクセス道路の改善と道路看板の設置
- 自然公園、自然景勝地の情報発信の充実
- 景勝地の特性に合った維持管理と活用法の検討

- ◆ 希少な生物、多様な自然の保護・保全が必要
- ◆ サル・イノシシ・野犬などの被害
- ◆ 外来種による生活や生態系への影響
- ◆ 生き物が住みよい川・道路づくりの要望が多い

- 希少な生物の生息環境や多様な自然の保全
- サル・イノシシ・野犬の被害防止
- 外来種の駆除
- 生き物にやさしい事業実施の推進



- ◆ 身近な公園や緑地の充実・維持管理
- ◆ 既存の公園などのPR・有効利用や維持管理
- ◆ 「年間観光客数」が目標未達成

- 既存の公園・施設の維持管理の充実
- 既存施設の有効活用方法の検討・維持管理
- 公園管理における市民・行政の協力体制の構築
- 住宅地域への身近な公園・緑地の整備



- ◆ ごみの減量が進んでいない
- ◆ ごみのポイ捨て・不法投棄・野焼きが多い
- ◆ 「1日1人当たりごみ排出量」「リサイクル率」が目標未達成

- 市民の意識改善やリサイクルの推進
- 自主的な環境美化活動などへの支援・普及
- 海岸・海域・河川のごみの不法投棄の防止
- 不法投棄禁止の看板の設置や規制の強化



- ◆ 時間・手間・機会が必要は取組が進んでいない
- ◆ 若年層は取組に消極的
- ◆ ごみ・リサイクルは最も重要な環境問題として認識

- 実行しやすい取組などの環境保全情報の発信
- 環境保全に係る学習・教育の充実

- ◆ 環境の相談窓口の設置
- ◆ 様々な市民活動への支援

- 市民活動における市民・行政の協力体制の構築
- 各地域活動での市民・事業者・行政の連携

- ◆ 環境に関する情報の公開・発信・PRの要望が多い
- ◆ 市の環境への取組が知られていない
- ◆ 「市HPアクセス件数」が目標未達成

- 環境保全に係る情報の積極的な発信・PR・市民からの情報収集体制の構築



- ◆ 家庭の動力、自動車、給油からのCO₂排出量が多い
- ◆ バスや電車、コミュニティバスの利便性向上が必要

- CO₂排出量の削減のための取組を紹介
- 太陽光発電などの自然エネルギーの普及促進
- 公共交通機関の利便性を向上させる方法の検討
- 交通拠点の利便性の向上



第4章 さぬき市の目指す環境

本計画の上位計画に当たる第2次さぬき市総合計画では、さぬき市が今後、美しく穏やかな瀬戸内海と緑あふれる讃岐山脈など豊富な自然を大切にしながら、産業や観光が盛んで働く場も確保された賑わいのあるまち、市民が、健康で快適に、安全で安心して暮らせるまちを目指すことをうたっています。そして、歴史と伝統文化に恵まれたわがふるさと「さぬき市」を愛し、誇りをもって、支え合い、協力しながらみんなで幸せに暮らしていけるまちを築いていくこととしています。

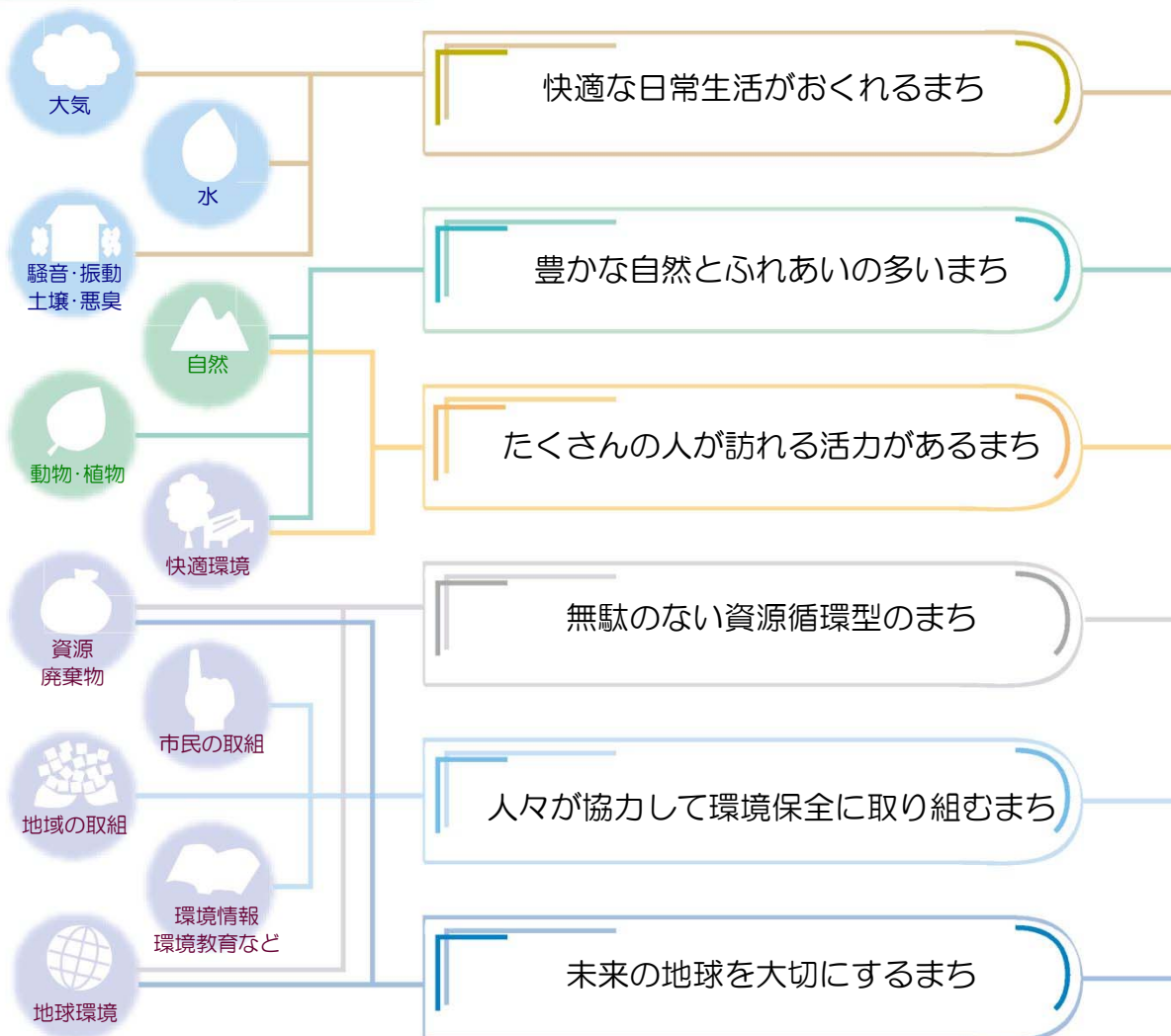
さぬき市 環境基本計画

基本理念と目指すべき環境像

<< 守る つなぐ 進化する >>

自然豊かでいきいき 笑顔あふれて快適に
みんなで暮らす ふるさとさぬき

具体的な目標



本計画もこの姿勢を受け継ぎ、基本理念と目指すべき環境像は、第2次さぬき市総合計画の基本理念「守る つなぐ 進化する」と、目指すべき将来像「自然豊かでいきいき 笑顔あふれて快適にみんなで暮らす ふるさとさぬき」を踏襲するものとします。

さらに、本計画では、具体的な目標として、さぬき市の現状、問題点および課題から、6つのあるべき姿を目指します。

大気環境(騒音・振動含む)・水環境・その他の環境(土壌・悪臭など)の、生活環境の保全を図ります。下水道事業の推進や適切な維持管理、浄化槽の設置促進と適切な利用啓発などを推進します。

自然保全活動の推進、森林の保全・維持管理、自然に親しむ場の創出を図ります。有害鳥獣被害について、被害防止対策や地区猟友会との連携強化、抜本的対策などを推進します。

自然景勝地、自然公園の維持管理の充実を図るとともに、アクセス道路の改善、情報の発信など、有効な活用を推進します。市民に身近な公園の整備を推進します。

ごみの減量化と3R運動(ごみの発生抑制: Reduce、再使用: Reuse、再生利用: Recycle)を推進します。ごみの不法投棄の防止に努めます。ごみやし尿の収集処理体制の維持・充実に努めます。

環境保全意識の高揚、環境保全活動や環境美化運動を推進します。環境情報や環境教育の充実を図ります。市民・事業者・行政が連携し、環境保全に取り組むことのできる体制作りを推進します。

地球温暖化対策など地球環境問題対策を推進します。公共交通利用促進や利便性の向上に努めます。環境にやさしい循環型社会の構築に努めます。

基本理念

さぬき市の将来像

主要な施策

- ・ 鳥獣被害対策の推進
- ・ 公共交通手段の利便性の向上
- ・ 公共交通利用促進対策
- ・ 公園・緑地の整備充実
- ・ 環境保全意識の高揚
- ・ 環境保全活動の推進
- ・ 環境美化運動の推進と景観の保全
- ・ ごみの不法投棄の防止
- ・ 地球温暖化対策
- ・ 公害などの防止
- ・ ペットの適切な飼養対策
- ・ ごみ減量化と3R運動推進
- ・ し尿収集・処理体制の充実
- ・ 下水道事業の推進・健全経営
- ・ 下水道施設の適切な維持管理
- ・ 浄化槽の設置促進と適切な利用啓発

第2次さぬき市総合計画

第5章 目標の実現に向けて ～施策と配慮指針～

5-1 市民・事業者の配慮指針と市の施策



快適な日常生活がおくれるまち

市民・事業者

大気環境(騒音・振動含む)・水環境・その他(土壌・悪臭など)に配慮した生活、事業活動を行いましょう。

できること、やるべきこと

- できるだけ公共交通機関の利用に努めましょう。
- 低公害車、低燃費車を利用しましょう。
- エコドライブを実践しましょう。
- 下水道への接続、浄化槽の設置や適切な維持管理に努めましょう。
- 用水路・排水路の清掃などのボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- 農地や畜産からの悪臭の防止に努めましょう。
- 事業場から出る煙を適切に管理しましょう。
- 生活や事業活動で発生する音や振動で周りに影響がないように配慮しましょう。



市(行政)

- 道路整備や関係機関への要請を行い、交通利便性の円滑化を図ります。
- 公用車の低公害車、低燃費車への転換に努めます。
- 公共交通手段の利便性の向上や利用促進対策を推進します。
 - ⇒ 現在の公共交通網の運行形態・路線形態および交通結節点を検討します。
 - ⇒ 公共交通利用について市民への周知を行います。
 - ⇒ パーク＆ライド駐車場の利用向上や駐輪場の整備を進めます。
- 下水道整備・接続促進への啓発とともに、下水道施設の効率的・効果的な維持管理と長命化を図り、施設の改築・更新、計画的な経営を推進します。
- 浄化槽の普及促進と維持管理のための啓発や設置支援を実施します。
- 計画的な上水道施設の整備や水源地域の環境保全と水質の公表を行います。
- 河川調査や小規模事業場の排水対策を検討します。
- 大気保全、騒音・振動防止、水質汚濁の防止、悪臭防止、土壌汚染・有害化学物質による汚染防止などに取り組みます。
- 市民と協力してボランティアなどによる清掃活動を推進します。



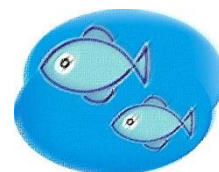
豊かな自然とふれあいの多いまち

市民・事業者

希少な野生生物や自然の生態系に配慮しましょう。
また、生態系に影響を与える外来種、市民の生活に被害を及ぼしている野生生物(サル・イノシシなど)の対策に協力しましょう。

できること、やるべきこと

- 野外活動は希少な野生生物に配慮して行いましょう。
また、希少種を採取しないよう注意しましょう。
- 生物の移入、輸入、販売にあたっては、専門家へ相談し、管理を徹底することで、外来種が生態系を乱さないように注意しましょう。
- サル・イノシシなどの被害防止に協力しましょう。
- 山・河川・海岸の清掃などのボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- 自然観察会などのイベントに積極的に参加しましょう。



市(行政)

- 荒廃農地の防止や遊休農地の解消など、農地の有効利用を図ります。
- 市の実施する事業において自然環境や自然景観との調和に配慮します。
- 森林資源の育成と造林事業などにより市有林の適切な整備と維持・管理を行います。
- 有害鳥獣被害対策として、効果的な侵入防止柵の設置や猟友会との協力体制の構築、市民への周知などの取組を実施します。
- 有害な外来種について、市民への予防啓発・駆除に努めます。
- 動植物・生態系調査の実施と保全対策を検討します。
- 自然公園・自然景勝地の特性に合った維持・管理と情報発信の充実に努めます。



たくさんの人が訪れる活力があるまち

市民・事業者

公園は公共ルールを守って利用しましょう。
また、さぬき市の財産である自然景勝地を美しく保つための活動や、
たくさんの人が訪れるさぬき市のまちづくりに協力しましょう。

できること、やるべきこと

- ごみや犬の糞の持ち帰りなど、マナーとルールを守って公園を利用しましょう。
- 公園や水辺の清掃活動などのボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- グリーンツーリズムなどの活動に積極的に協力しましょう。
- 積極的な緑化や清掃などにより、美しい風景をもったまちづくりに協力しましょう。



市(行政)

- 地元自治会やシルバー人材センターとの連携を強化し、公園の適切な維持管理に努めるとともに、ポケットパークなど身近な公園の整備について検討します。
- さぬき市の観光資源の再整理や発掘、有効な活用方法について調査・研究を行います。
- 自然・温泉・お寺めぐりなど、多彩な観光ルートの設定を検討します。
- 道の駅の利便性の向上と施設の利用促進を行い観光振興を図ります。
- 河川や海域の環境を保全し、学習や憩いの場として水辺に親しむ環境づくりを図ります。
- 自然公園や景勝地の適切な維持管理を行います。
- 公園ごとの特色を重視した運営を行います。
- 自然公園や景勝地の情報をHPや広報紙で発信します。
- 観光資源としての自然の活用方法を検討します。



無駄のない資源循環型のまち

市民・事業者

3R(ごみの発生抑制: Reduce、再使用: Reuse、再生利用: Recycle)に
取り組みましょう。

ごみの不法投棄、一般家庭での野焼きなどの
違法行為の防止に努めましょう。

できること、やるべきこと

- 買い物袋やエコバックの持参など、ごみの減量に努めましょう。
- フリーマーケットへの参加など、
ものの再使用に努めましょう。
- 生ごみの堆肥化や適切なごみの分別など、
ごみの再資源化に努めましょう。
- 環境に影響の少ない製品を購入しましょう。
- ごみのポイ捨てや粗大ごみの不法投棄、
野焼きなどの違法行為は絶対やめましょう。



市(行政)

- ごみの減量化や3R運動のさらなる普及促進を図ります。
- ごみの収集・処理体制の適切な維持、充実に努めます。
- 不法投棄禁止の看板の設置や不法投棄監視パトロールの強化を図ります。
- ごみの不法投棄など違法行為の防止について広く周知します。
- 自主的な環境美化活動に対し、ごみ袋の配布及び回収などの支援を
実施するとともに、環境美化活動の幅広い世代への普及を促進します。
- 工場や事業所、農業における廃棄物などによる環境汚染防止の啓発活動
を行います。
- 市民・事業者・行政・民間団体の協力体制の充実に努めます。



人々が協力して環境保全に取り組むまち

市民・事業者

環境について学び、環境保全に関する活動、
自然とふれあえるイベントなどに積極的に参加しましょう。

できること、やるべきこと

- インターネットなどを活用して、環境について学びましょう。
- 子供と環境について話をするなど、家庭での環境教育に取り組みましょう。
- 環境保全に関する活動やイベントに積極的に参加しましょう。
- 自然環境とふれあう余暇の過ごし方をしましょう。
- 環境ボランティア活動や地域のコミュニティ活動に積極的に参加しましょう。
- 市民・事業者・市の情報交換や連携に取り組みましょう。



市(行政)

- 環境保全に係る学習の充実を図ります。
 - ⇒ 市の情勢をまとめた社会科副読本「わたしたちのさぬき市」を活用します。
 - ⇒ 自然体験など地域における社会教育活動のためのプログラムを作ります。
 - ⇒ 学校関係者・ボランティアなどとの協働で、学び・創造・遊び教室を開催します。
 - ⇒ 自然観察会、生き物調査などにより、幼児期からの自然環境教育を行います。
 - ⇒ 学校教育や生涯学習と連携し、主体的な環境保全意識を育成します。
- 環境保全に係る情報の積極的な発信・PR・市民からの情報の収集に努めます。
 - ⇒ さぬき市HPの充実やインターネットによる情報の受発信を推進します。
 - ⇒ 環境保全活動の啓発や意識の高揚を図ります。
- 環境保全に積極的に取り組む環境ボランティア団体の活動支援を行います。
- 市民・事業者・行政・民間団体が連携して環境教育活動に取り組むことができる体制を整備します。



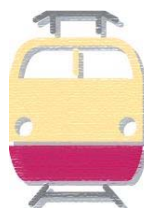
未来の地球を大切にするまち

市民・事業者

未来の地球について考え、地球温暖化防止の活動などに積極的に参加し、地球に優しい暮らしをしましょう。

できること、やるべきこと

- 地球環境問題に関心を持ちましょう。
- 公共交通機関を積極的に利用しましょう。
- 低公害車、低燃費車の利用や、エコドライブを心がけましょう。
- 新エネルギーの導入に努めましょう。
- 冷暖房や照明、テレビなどの節電、お風呂やシャワーの節水をしましょう。
- 地球温暖化やCO₂削減の取組について学び、できることから取り組みましょう。



市(行政)

- 公共施設などにおける地球温暖化対策を推進します。
 - ⇒ 省エネルギー活動(クールビズ・ウォームビズなど)を推進します。
 - ⇒ 低公害車、低燃費車やその他機器の導入、新エネルギー導入を検討します。
- 公共交通手段の利便性の向上や利用促進対策を推進します。
- 地球温暖化防止や地球環境保全についての取組の啓発活動を行います。
- ISO14001※の普及に努めます。
- 太陽光発電などの自然エネルギーの普及促進を支援します。
- 地球温暖化対策などについて環境ボランティアとの連携強化を図ります。

WORD

※ ISO14001：環境マネジメントシステムの仕様を定めた規格であり、基本的な構造は、PDCAサイクルと呼ばれ、(1)方針・計画(Plan)、(2)実施(Do)、(3)点検(Check)、(4)是正・見直し(Act)というプロセスを繰り返すことにより、環境マネジメントのレベルを継続的に改善していこうというものです。

5-2 地域の課題に向けて

さぬき市の問題点と課題、平成27年度環境アンケート、環境基本計画策定委員会の検討結果をもとに、地域の課題と必要な対策について整理しました。市民、事業者、行政で連携して対策に取り組んで行く必要があります。



■ 海岸・海域

- 上流からのごみの漂流対策
 - 河川へのごみポイ捨て対策を強化
- ごみの不法投棄対策を強化
 - 看板の設置・パトロール・広報PR
- 市民と行政の連携を強化
 - ごみ袋の配布・回収などの環境美化活動への支援



■ 里海(津田湾・志度湾)

- 里海としての再生と持続的活用
 - 藻場の造成、海底耕運、底質改良など
- カキ殻の資源利用の推進

■ 市内のため池・河川

- 希少野生生物(ニッポンバラタナゴ・タモロコ)の生息地の保全

■ 河川(津田川・鴨部川・弁天川など)

- 事業場排水対策の推進
- 下水道の整備・接続推進
- 浄化槽の普及・適正管理
- 河川へのごみのポイ捨て対策を強化
 - 看板の設置・広報PR
- 市民と行政の連携を強化
 - ごみ袋の配布・回収など環境美化活動への支援
- 河口の希少野生生物(ハクセンシオマネキなど)の生育・生息地の保全



■ 里地里山(田園地域を含む)

- 有害鳥獣など対策
 - 効果的な侵入防止柵の設置
 - 猟友会との協力体制の構築
 - 駆除計画(鳥獣被害防止計画)の策定検討
 - 被害軽減に向けたパンフレットの配布
 - 通学路・田畑・道路沿いなどの間伐・草刈
 - モデルケースなどの取組を拡大推進
- 里山の適正な管理(草刈り、間伐など)
- 市民と行政の連携により、効率的な維持管理体制の構築
- 荒廃農地・遊休農地の有効利用の推進



■ 山間地

- ごみの不法投棄対策
 - 不法投棄防止の看板設置
 - 不法投棄監視パトロールによる監視の継続
 - 不法投棄防止体制や処分体制を整備
 - 不法投棄防止について広く周知
- 放置竹林の適正管理
 - 里山への拡大、侵入の防止



● 公園・自然景勝地

- 情報発信の充実
- 施設や案内板の見直し
- 施設の見直しを検討
- 道路アクセスの向上
- 施設の適切な維持管理



第6章 効果的な計画の推進に向けて

6-1 計画の推進体制

(1) 市民と事業者と市の基本的な役割

目指すべき環境像の実現に向けて、市民、事業者、市(行政)は以下の基本的役割を果たし、連携、協力して取組を進めていく必要があります。



図6-1 市民と事業者と市の基本的な役割

(2) 推進体制

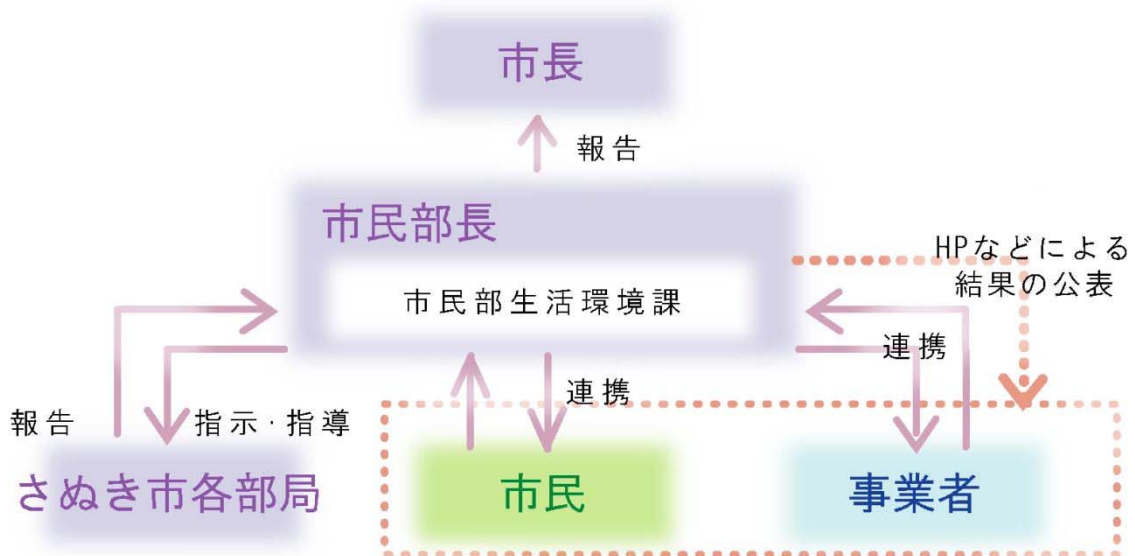


図6-2 環境基本計画の推進体制

6-2 計画の進行管理

(1) 進行管理の方法

計画の実効性を確保するため、環境基本計画の進行管理を実施していく必要があります。

進行管理においては環境マネジメントシステムの考え方を取り入れ、PDCAサイクルに基づく継続的改善を図っていくものとします。

評価、点検、見直しは、環境基本計画の期間に基づいて実施するものとします(第1章 1-3)。

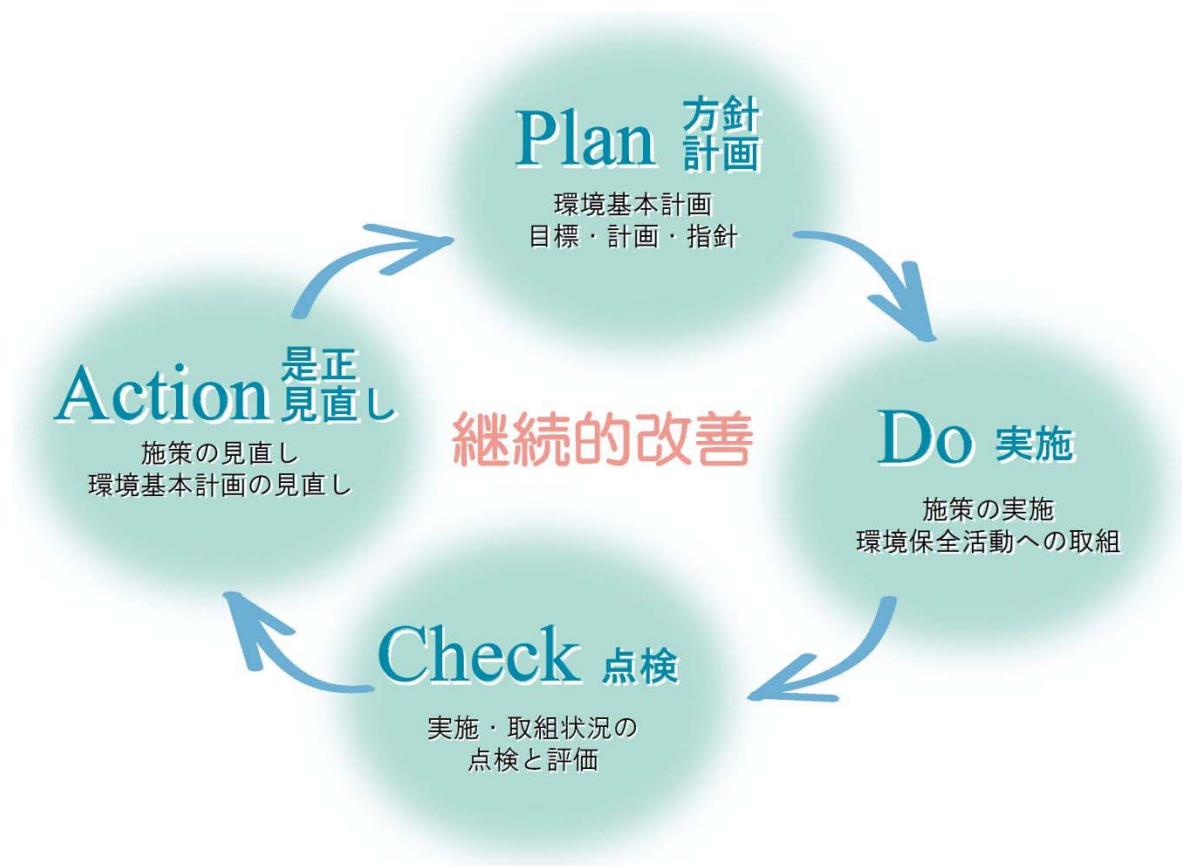


図6-3 環境基本計画の進行管理

さぬき市環境基本計画

「守る つなぐ 進化する」
自然豊かでいきいき 笑顔あふれて快適に
みんなで暮らす ふるさとさぬき

さぬき市 市民部 生活環境課

〒769-2195 香川県さぬき市志度5385番地8

TEL : 087-894-1119 FAX : 087-894-3000

E-mail : seikatsu@city.sanuki.lg.jp